

恵那市総合計画の策定に向けた

市民意識調査結果

—報告書—

平成17年6月

恵 那 市

目次

(1) 調査の概要	1
(2) 回答者の属性	3
(3) 調査結果の要旨	9
(4) 調査結果	12
① 今後の居住意向	12
1) 今後の居住意向	12
2) 恵那市で暮らしたい理由	14
3) 恵那市以外で暮らしたい理由	15
② 施策の満足度・重要度	16
1) 個別施策の満足度	16
2) 個別施策の重要度	18
3) 年齢別、居住地別の満足度・不満度・重要度	20
4) 満足度・重要度指数	27
③ 個別の計画について	29
1) 子育てについて	29
2) 防災について	32
3) 公共交通について	33
4) 情報通信について	34
5) 産業振興について	35
6) 学校教育について	38
④ 市民参加や市民協働について	40
1) 協働のまちづくりについての住民の意識改革の必要性	40
2) 市民の意見を市政に反映するために必要なこと	41
3) 地域コミュニティ活動や市民協働を推進するために必要なこと	42
⑤ 行財政運営について	43
1) 効率的な行財政運営を行うために重点的に取り組むべきこと	43
(5) その他意見・自由意見	44
① その他意見	44
② 自由意見	52
(6) 参考資料	91
① 集計表	91
② 調査票	124

(1) 調査の概要

① 調査の目的

この調査は、平成 18 年度から 27 年度を計画期間とする「恵那市総合計画」の策定にあたって、広く市民から意見を収集し、市民の意向を反映した計画づくりを行うことを目的として実施するものです。また、市の現状に対する満足度・重要度についての設問を設定することにより行政評価の基礎資料としても活用します。

② 調査項目

- ・回答者の属性
- ・市政に対する現状の評価と今後の期待
- ・個別の課題・計画について
- ・市民参加や市民協働について
- ・今後の居住意向について
- ・自由意見

③ 調査対象

この調査は、20 歳以上の市民から無作為に抽出した 2,500 名を対象としています。対象者の抽出は、平成 17 年 4 月現在の住民基本台帳をもとにしています。

④ 調査方法

調査方法は、郵送による配布、回収です。

⑤ 調査期間

平成 17 年 4 月 12 日に発送し、平成 17 年 4 月 25 日を投函締め切りとしました。

⑥ 回収状況

配布数 2,500 票に対して、有効回収数は 1,688 票、有効回収率は 67.5%です。

配布数	有効回収数	有効回収率
2,500 票	1,688 票	67.5%

⑦ 調査結果の見方

1) 標本誤差

アンケートを行う場合、該当者全員を対象として調査を実施することが最も望ましいといえますが、実際には全員を対象とすることは困難であり、相応な人数を選んで精度の高い調査結果を得なければなりません。

この調査では、多くの市民の方に協力をいただき、**1,688** 人から回答結果を得ていますが、これがどの程度の精度を持った回答結果であるのかを示す指標として「標本誤差」があります。

信頼度※を **95%** とすると、この調査の標本誤差は次式で近似することができます。

$$\epsilon = 2 \sqrt{\frac{n - N}{n - 1} \times \frac{P(1 - P)}{N}}$$

ϵ = 標本誤差
 n = 母集団数
 N = 比率算出の基数 (サンプル数)
 P = 回答比率

※信頼度とは、この結果がどの程度信頼できるかを示す値で、95%の場合、100 回中 95 回はこの結果にあてはまる (5 回はあてはまらないことがありうる) という意味になります。

上記の式を用いると、この調査の標本誤差は以下のように算出されます。

この表の見方は、例えば、「ある設問の回答者数が **1,500** 人あり、その設問中の選択肢の回答比率が **60%** であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも **±2.49%** 以内 (57.51% ~ 62.49%) である」とみることができます。

(標本誤差早見表)

回答比率 基数	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,688 人	±1.43	±1.91	±2.19	±2.34	±2.39
1,500 人	±1.52	±2.03	±2.33	±2.49	±2.54
1,000 人	±1.88	±2.50	±2.87	±3.06	±3.13
500 人	±2.67	±3.56	±4.08	±4.36	±4.45

母数：45,852 人 (平成 17 年 4 月 1 日現在 20 歳以上人口)

2) 留意点

- 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しています。このため、百分率の合計が **100.0%** にならないことがあります。
- 基数となる実数は N として掲載し、各グラフの比率は N を母数とした割合を示しています。
- 一部のグラフについて、クロス集計をする上で「無回答」を省略しているものがあります。
- 1 人の回答者が複数回答する設問では「複数回答」と表示しています。この場合、その比率の合計は **100.0%** を上回る場合があります。

(2) 回答者の属性

① 性別

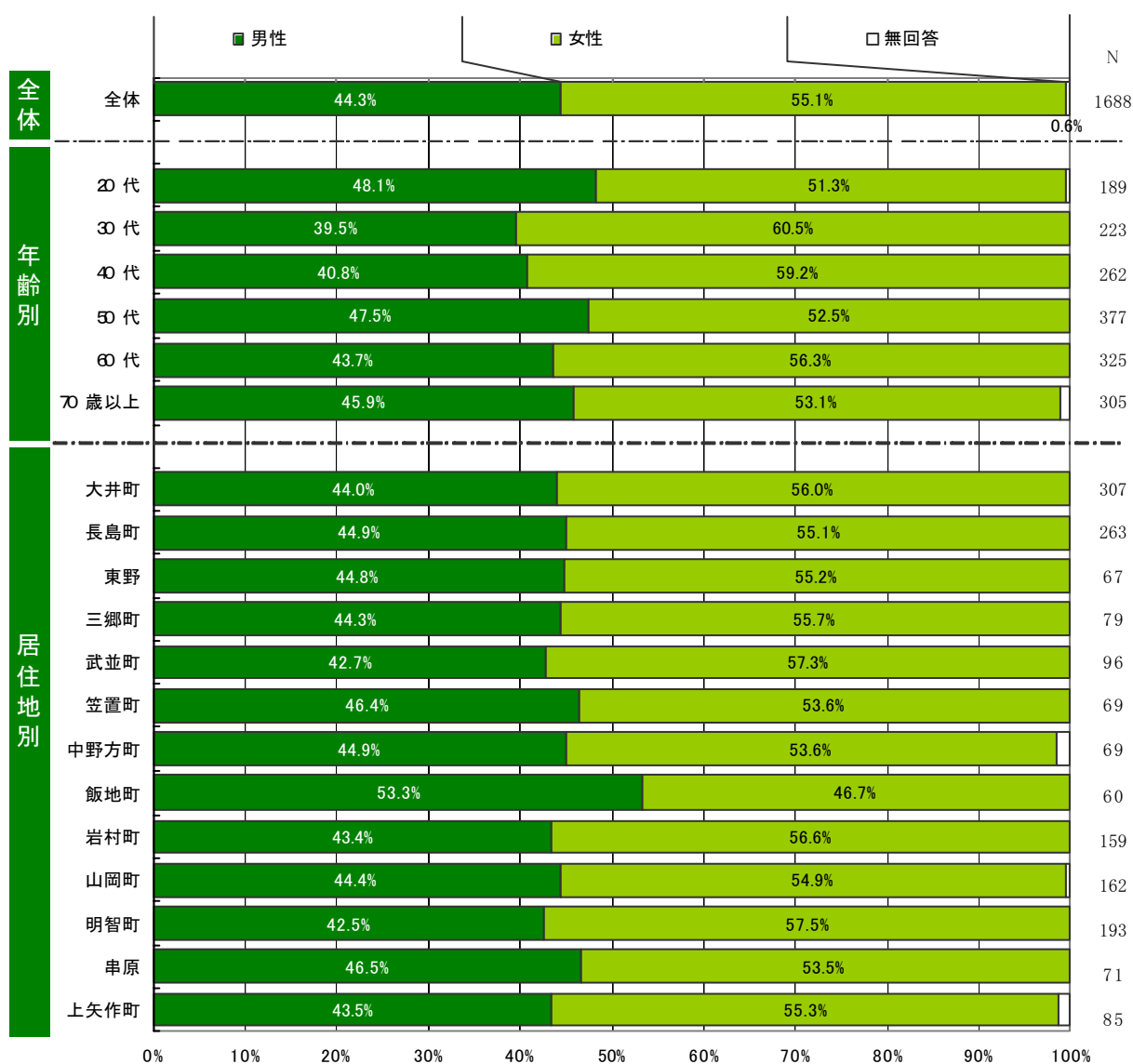
◆設問 1「あなたの性別は？」

回答者の性別は、全体では「男性」44.3%、「女性」55.1%となっています。

年齢別にみると、どの年代においても「女性」の割合が高くなっています。特に30代は「女性」の割合が高く60.5%となっています。

居住地別にみると、飯地町においてのみ「男性」が「女性」を上回っていますが、他の地区では概ね「男性」45%、「女性」55%という構成比になっています。

図 回答者の性別



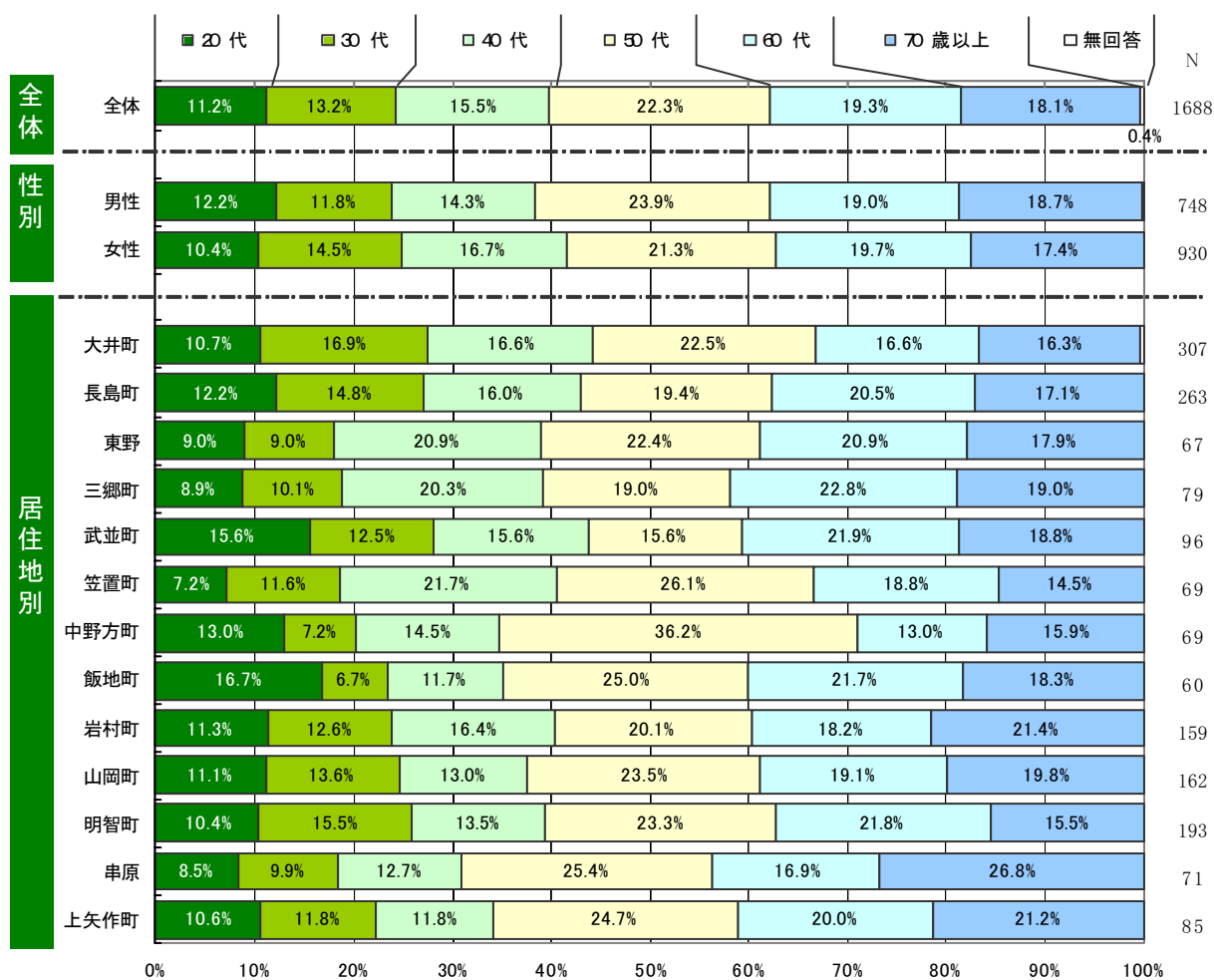
② 年齢

◆設問2「あなたの年齢は？」

回答者の年齢は、全体では「50代」が22.3%で最も高い割合を占め、次いで「60代」が19.3%、「70歳以上」が18.1%となっており、20代～30代の若年層は24.4%となっています。

居住地別にみると、中野方町では、他の地域に比べて「50代」の割合が高く、60歳以上の割合が低くなっています。また、武並町では、他の地域に比べて「50代」の割合が低く、「20代」の割合が飯地町に次いで高くなっています。

図 回答者の年齢



③ 居住地

◆設問3「あなたがお住まいの地域はどこですか？」

回答者の居住地は、「大井町」が18.2%、「長島町」が15.6%、「明智町」が11.4%などとなっており、地区別人口割合と概ね同様の傾向を示しています。

図 回答者の居住地

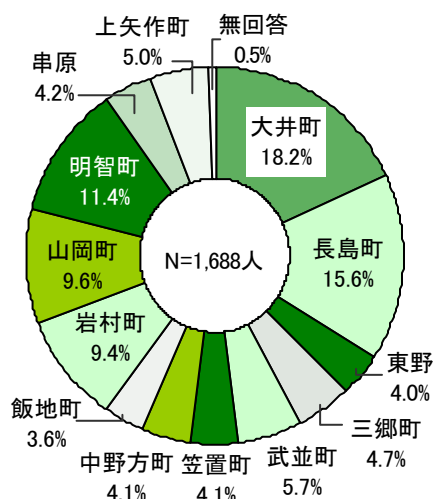


表 (参考) 地区別人口割合

地区	人口	割合
大井町	10,552	23.0%
長島町	8,025	17.5%
東野	1,491	3.3%
三郷町	2,222	4.8%
武並町	2,699	5.9%
笠置町	1,300	2.8%
中野方町	1,571	3.4%
飯地町	694	1.5%
岩村町	4,451	9.7%
山岡町	4,321	9.4%
明智町	5,463	11.9%
串原	836	1.8%
上矢作町	2,227	4.9%
合計	45,852	100.0%

資料：住民基本台帳
(平成17年4月1日現在20歳以上人口)

④ 居住年数

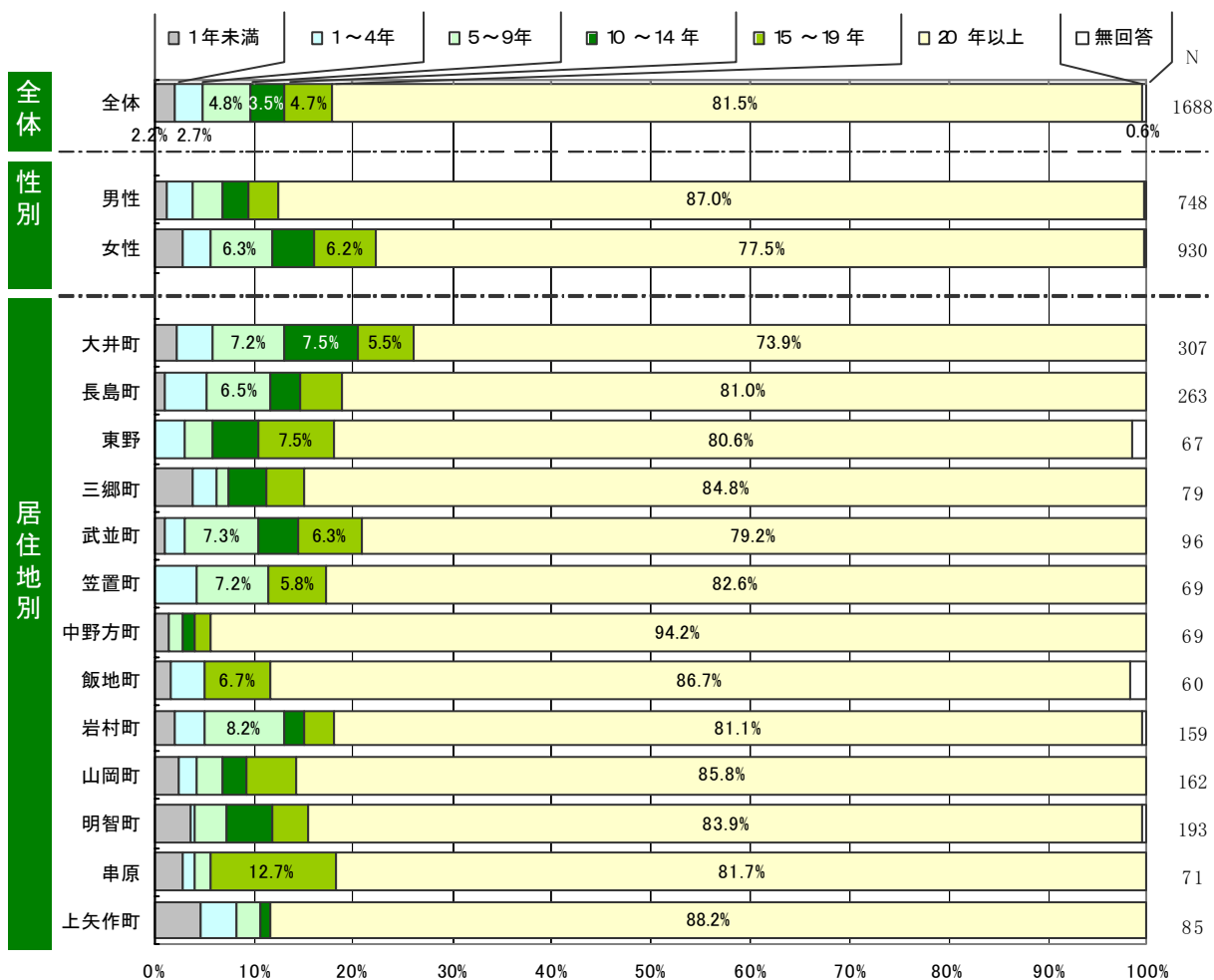
◆設問 4「あなたは恵那市(旧 6 市町村を含む)に住んで通算何年になりますか？」

回答者の居住年数は、全体では「20 年以上」が 81.5%と大半を占めています。

性別にみると、男性では「20 年以上」が 87.0%となっています。

居住地別にみると、大井町、岩村町などでは、居住年数 10 年以内の比較的新しい居住者の割合が他の地区に比べて若干高くなっています。

図 回答者の居住年数



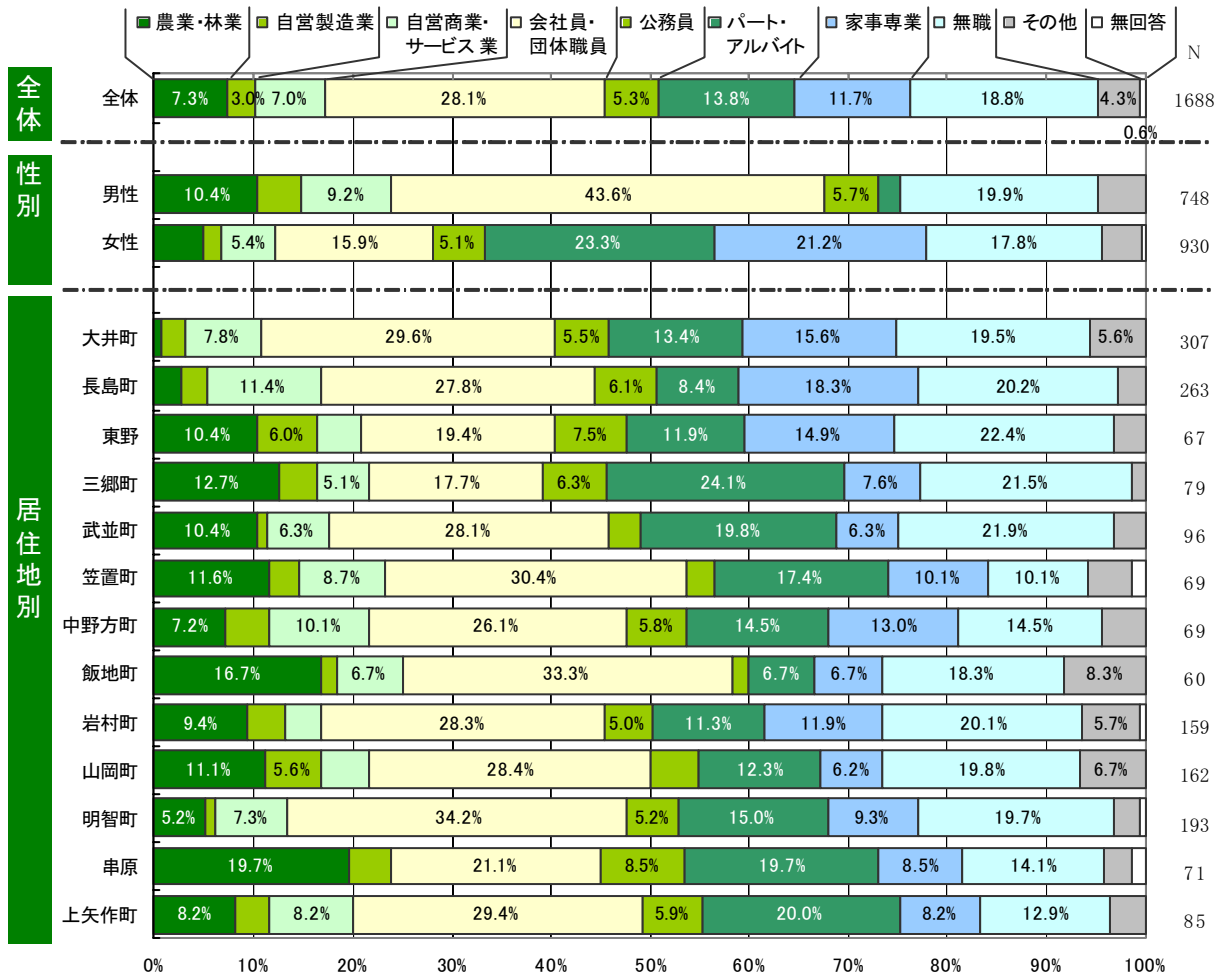
⑤ 職業

◆設問5「あなたの職業は？」

回答者の職業は、全体では「会社員・団体職員」が28.1%で最も高い割合を占め、次いで「無職」18.8%、「パート・アルバイト」13.8%の順になっています。

居住地別にみると、串原、飯地町では「農業・林業」、三郷町、上矢作町では「パート・アルバイト」の割合が他地区に比べて高くなっています。

図 回答者の職業



※選択肢の「自由業（開業医・弁護士等）」、「NPO・市民団体職員」、「学生」、「求職中」は、回答数のごくわずかであったため、ここでは「その他」に含めてグラフ化してあります。

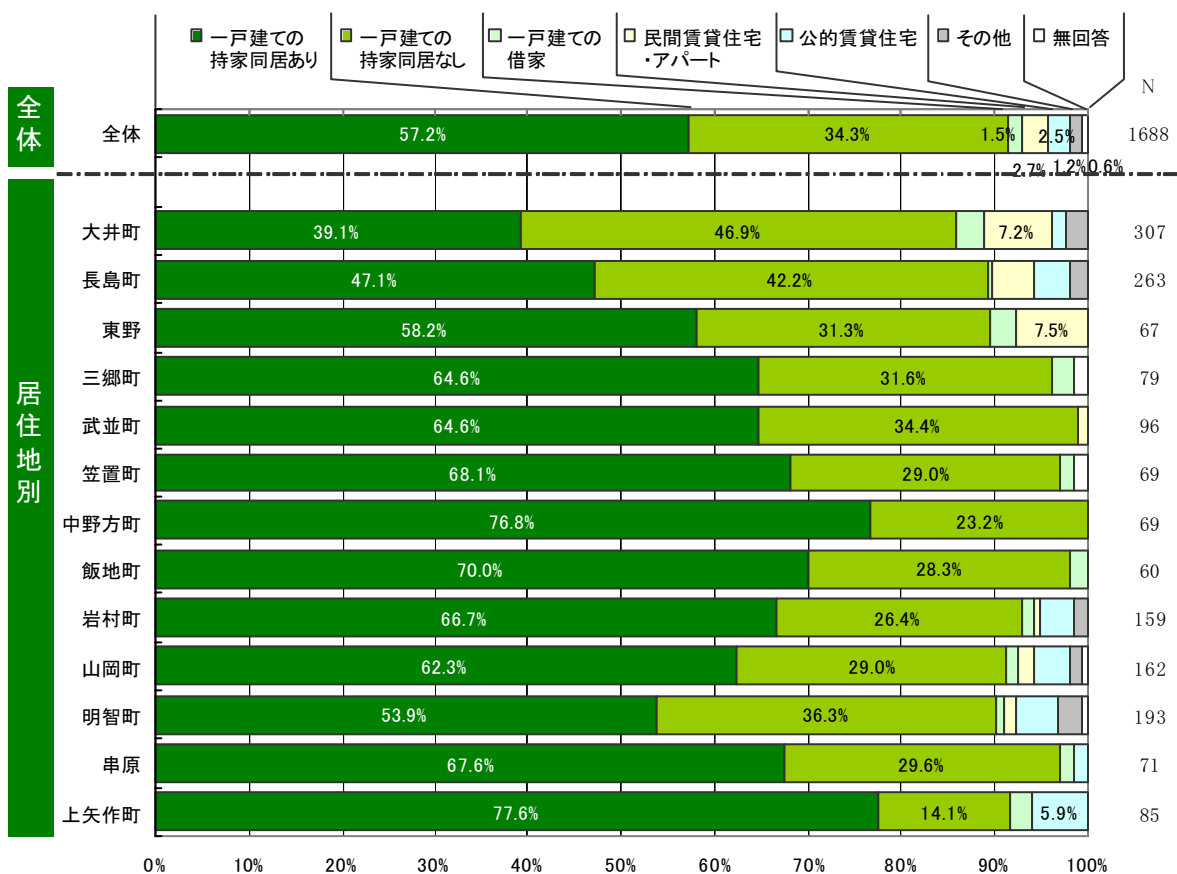
⑥ 住宅の種類

◆設問 6「現在あなたがお住まいの住宅の種類は何ですか？」

住宅の種類は、全体では「一戸建ての持家（同居あり）」が 57.2%、「一戸建ての持家（同居なし）」が 34.3%で、これを合わせると一戸建てが 91.5%を占めています。

居住地別にみると、大井町においてのみ「一戸建ての持家（同居なし）」の割合が最も高く「一戸建ての持家（同居あり）」を上回っています。

図 回答者の住宅の種類



※選択肢の「社宅・寮」は、回答数のごくわずかであったため、ここでは「その他」に含めてグラフ化してあります。

(3) 調査結果の要旨

市民意識調査の結果の要旨を以下に整理します。

50代以上では7割が定住を希望、ただし若年になるほど低下の傾向

50代以上では7割以上が市内での定住意向を持っていますが、年齢が若くなるほど定住意向は低くなり、20代～30代では5割を下回っています。市外で暮らしたい理由としては日常生活の不便さや、20代ではやりたい仕事がないといった理由があげられており、名古屋市や隣接する豊田市、瑞浪市、中津川市を希望居住地とする人が多くなっています。

医療、教育、防犯・防災、雇用確保、健全な財政運営などが重点課題

市政に対する現状の評価として、全体では、上水道等の整備、ごみ収集と処理サービスなどの満足度が高くなっており、逆に、商店街のにぎわい、魅力ある働く場の確保などは、不満度が高くなっています。ただし、居住地別にみると、公共交通や上水道等の整備の不満度が最も高くなっている地域もみられることから、地域課題に応じた施策展開が必要です。

今後重要な施策としては、医療面や防犯・防災などの安全面、ごみの収集や減量化、高齢者福祉、魅力ある働く場の確保などをあげる市民が多くなっています。

満足度が低く、重要度が高い施策としては、医療、防犯・防災、魅力ある働く場の確保のほか、小中学校における教育、健全な財政運営、行政改革の推進などがあげられており、今後はこれらの施策を重点的に推進していく必要があります。

子育てするうえでは、交通安全や防犯対策、若い世代では経済的支援が必要

安心して子育てするために必要なこととして、子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策が最も求められており、4割以上の方が必要と答えています。また、20代、30代では、子育て家庭に対する経済的な支援も4割以上の方が必要としており、子育て世帯のニーズにあった施策展開を図る必要があります。

合併時に、新たに助成が拡大された乳幼児医療費については、子育て世代の30代、40代では6割前後に周知されていますが、全体では4割にとどまっていることから、さらに広く市民に周知する必要があるといえます。

地域や年代層の需要に応じた柔軟な公共交通サービスの充実が必要

全体では、JR・民間バスの利便性向上が最も求められていますが、50代以上の中高年齢層やJR駅から遠い地域では、乗合タクシー・有償ボランティア輸送などの新たな交通手段の導入や自主運行バスの利便性向上などが求められています。また、岩村町、明智町などでは明知鉄道の利便性向上が多く望まれています。このことから、今後は、地域や年代ごとのニーズを的確に捉えながら、効率的かつ柔軟な公共交通サービスの充実を図る必要があります。

携帯電話の不感地域の解消、防災無線の整備、CATVの整備が必要

若年層、中年層と山間地域において、携帯電話の不感地域を解消することが求められています。反対に、高齢層と中心部において、防災無線の整備、難聴地域の解消が求められています。防災無線については、自由意見でも「防災無線があっても聞こえない」などの意見が出されており、施策の満足度・重要度評価においても「地震・災害に対する安心感」は重点課題にあげられていることから、早急に整備・改善を図る必要があります。

また、年齢別にみると、若年層では約4割の方がインターネット環境の整備を早期に実現してほしいとしており、居住地別にみてもケーブルテレビやインターネット環境の整備について、2割から3割の方が必要としていることから、これらの情報通信基盤整備についても早期に実現する必要があります。

観光振興や地場産業の活性化、意欲のある人の起業を支援することが重要

恵那市を「活気あるまち」にするためには、自然環境や地域資源を活かして観光振興を進めることや地場産業を盛り上げることが重要と考える市民が多く、反対に、大型店舗の誘致などは1割程度と少なくなっています。また、新たな産業の育成や起業を支援し、意欲のある人が十分に活躍できる環境を整えることが重要と考える市民が、観光振興に次いで多くなっており、特に40代から60代やパート・アルバイトが多くなっています。

こうしたことから、今後は、農業や商店街、地場産業などを含めた地域資源を活かしながら、いかに観光振興や起業支援につなげていくかが重要な課題といえます。

また、グリーンピア恵那跡地については、自然環境学習等に活用する、レクリエーションの場を目指す、植林して山林に戻すなど、意見が分かれていることから、様々な視点から検討する必要があります。

良好な人間関係をつくる力、他人への思いやりや感動する心を持った子どもに

現在の小中学校教育に対して、子どもの道徳心やしつけの低下が懸念されています。そうした中で、良好な人間関係をつくる力、他人への思いやりや感動する心を小中学校教育で身につけることが期待されています。

今後は、施策重要度評価の教育・文化の分野において、「小中学校における教育」に次いで重要度の高い「学校・地域・家庭の連携」の面を重視しながら、家庭と地域と学校が一体となって、思いやりがあり、良好な人間関係を築くことのできる子どもたちを育てていくことが課題となっています。

協働のまちづくりに向けて、市民の意識改革と多様な市民参画の機会づくりを

これからの新しいまちづくりについて、協働のまちづくりのあり方、住民と行政の新しい関係づくりといった住民意識の改革について、必要性を感じている市民は8割あまりと大半を占めています。そうした中で、市民が庁内で行われている会議の内容を知る機会を充実することや行政と市民とのコミュニケーションの場を増やすこと、市民の主体的な活動や参画を支援することが求められており、今後は、市民と行政の意識改革を図りながら、協働のまちづくりを進めていくことが必要です。

経費の適正化・削減の徹底と行政組織の合理化を

効率的な行財政運営を行うためには、行政内部の経費の適正化・削減を徹底すること、行政組織を簡素・合理化することなどを重点的に取り組むことが必要だと考えられています。また、新しい市政への不安や期待に関する意見も多くあげられており、こうした市民の貴重な意見を踏まえながら、効率的な行財政運営を行う必要があります。

(4) 調査結果

① 今後の居留意向

1) 今後の居留意向

◆設問 21 「あなたは今後も恵那市で暮らしたいですか？
市外で暮らしたい場合は、暮らしたい地域も教えてください。」

今後も恵那市で暮らしたいかどうかを尋ねたところ、全体では「ずっと恵那市で暮らしたい」が 65.0%で、「市外で暮らしたい」9.4%、「何ともいえない」22.0%を大きく上回っています。

性別にみると、女性より男性の方が、居住継続意向が高くなっています。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「ずっと恵那市で暮らしたい」とする割合が高く、40代以上では半数を超えています。しかし、30代以下の若年層では「何ともいえない」、「市外で暮らしたい」とする割合が他の年代に比べて高く、「ずっと恵那市で暮らしたい」は45%程度となっています。

居住地別に「ずっと恵那市で暮らしたい」とする割合をみると、その割合が最も高い地域は飯地町で71.7%となっています。

「市外で暮らしたい」と答えた方に希望する居住地を尋ねたところ、「愛知県」が44.7%で最も高く、具体的には名古屋市や隣接する豊田市が多くなっています。次いで「岐阜県内」が23.9%となっており、瑞浪市や中津川市が多くなっています。

図 今後の居留意向

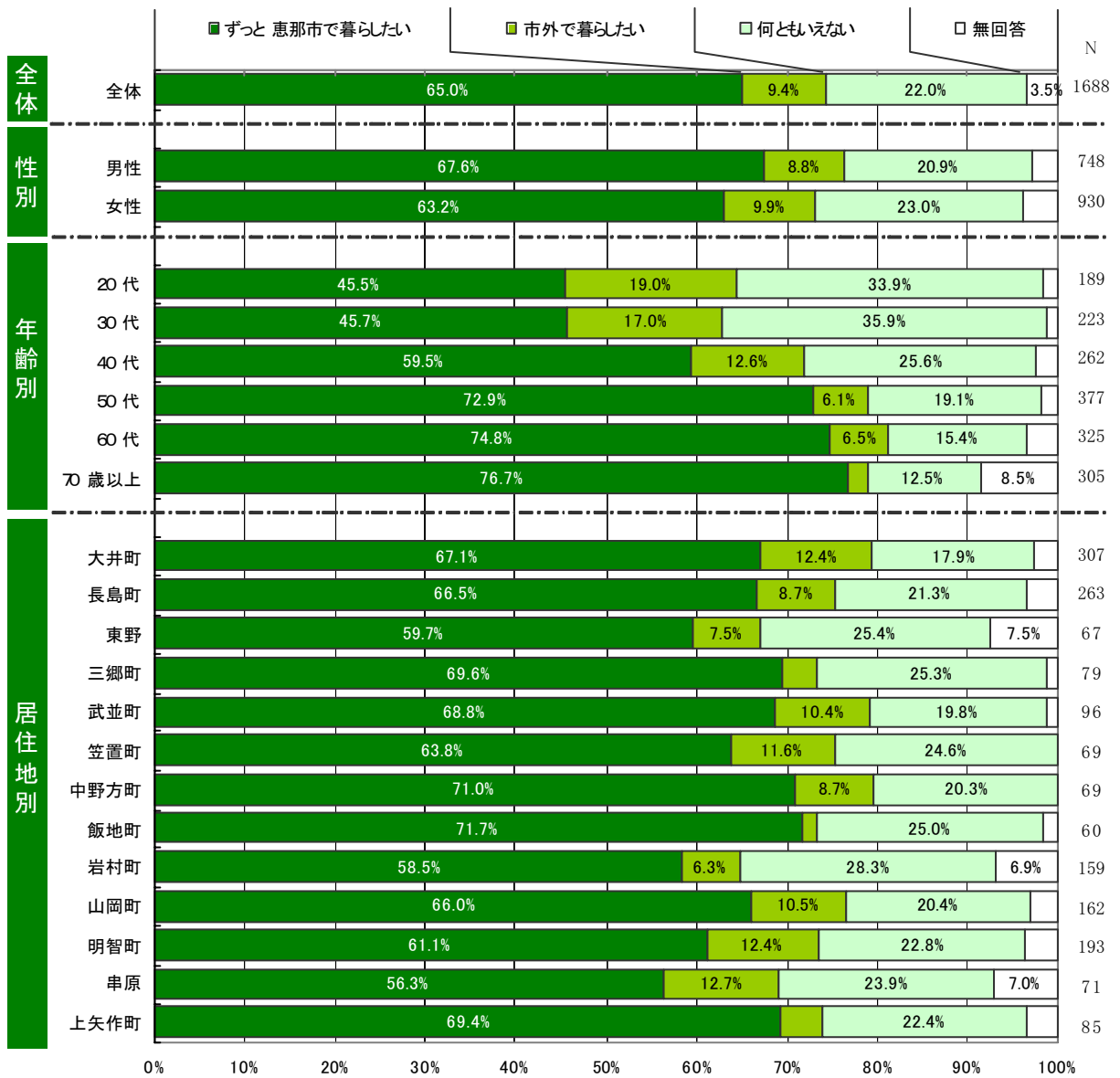
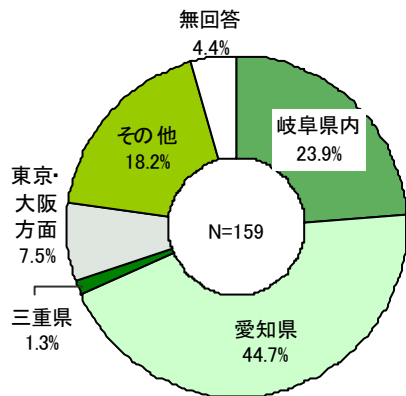


図 市外で暮らしたい場合の希望居住地



岐阜県内	愛知県	その他
瑞浪市 (9)	名古屋市 (17)	静岡県 (9)
中津川市 (6)	豊田市 (9)	海外 (8)
土岐市 (2)	春日井市 (4)	長野県 (3)
岐阜市 (2)	知多市 (1)	沖縄県 (2)
可児市 (2)	日進市 (1)	その他 (7)
各務原市 (1)	長久手町 (1)	
多治見市 (1)	不明 (38)	
高山市 (1)		
不明 (14)		

※ 159人は今後の居留意向で「市外で暮らしたい」と回答した人

2) 恵那市で暮らしたい理由

◆設問 22「恵那市で暮らしたい理由は何ですか？」

「ずっと恵那市で暮らしたい」と回答した方に恵那市で暮らしたい理由を尋ねたところ、「家・土地があるから」が最も多く 84.6%、次いで「地域・人に愛着があるから」が 48.1%、「居住環境がよいから」が 28.6%となっています。

年齢別、居住地別にみても同様の理由があげられています。

図 恵那市で暮らしたい理由

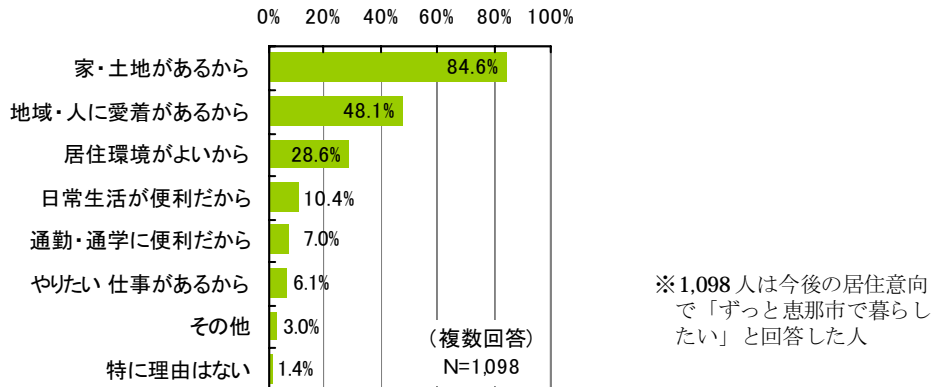


表 年齢別 恵那市で暮らしたい理由（上位3つ）

	1位		2位		3位	
20代	家・土地がある	64.0%	地域・人に愛着	60.5%	居住環境がよい	26.7%
30代	家・土地がある	73.5%	地域・人に愛着	37.3%	居住環境がよい	20.6%
40代	家・土地がある	90.4%	地域・人に愛着	42.3%	居住環境がよい	23.1%
50代	家・土地がある	88.7%	地域・人に愛着	45.1%	居住環境がよい	27.3%
60代	家・土地がある	82.3%	地域・人に愛着	51.4%	居住環境がよい	33.7%
70歳以上	家・土地がある	90.6%	地域・人に愛着	52.1%	居住環境がよい	32.5%

表 居住地別 恵那市で暮らしたい理由（上位3つ）

	1位		2位		3位	
大井町	家・土地がある	77.2%	地域・人に愛着	45.6%	居住環境がよい	28.2%
長島町	家・土地がある	85.1%	地域・人に愛着	49.1%	居住環境がよい	26.3%
東野	家・土地がある	95.0%	地域・人に愛着	45.0%	居住環境がよい	42.5%
三郷町	家・土地がある	89.1%	地域・人に愛着	63.6%	居住環境がよい	45.5%
武並町	家・土地がある	78.8%	地域・人に愛着	51.5%	居住環境がよい	27.3%
笠置町	家・土地がある	86.4%	地域・人に愛着	45.5%	居住環境がよい	29.5%
中野方町	家・土地がある	83.7%	地域・人に愛着	46.9%	居住環境がよい	20.4%
飯地町	家・土地がある	95.3%	地域・人に愛着	46.5%	居住環境がよい	37.2%
岩村町	家・土地がある	82.8%	地域・人に愛着	39.8%	居住環境がよい	26.9%
山岡町	家・土地がある	89.7%	地域・人に愛着	47.7%	居住環境がよい	24.3%
明智町	家・土地がある	85.6%	地域・人に愛着	45.8%	居住環境がよい	28.0%
串原	家・土地がある	85.0%	地域・人に愛着	55.0%	居住環境がよい	22.5%
上矢作町	家・土地がある	86.4%	地域・人に愛着	55.9%	居住環境がよい	28.8%

3) 恵那市以外で暮らしたい理由

◆設問 23「恵那市以外で暮らしたい理由は何ですか？」

「恵那市以外で暮らしたい」と回答した方に恵那市以外で暮らしたい理由を尋ねたところ、「日常生活が不便だから」が最も多く 47.8%、次いで「通勤・通学に不便だから」が 32.1%、「居住環境が悪いから」が 27.7%となっています。また、「その他」の理由としては、税金や水道代が高い、子育て支援や公園などの整備が遅れている、中津川市や瑞浪市に比べて行政の遅れを感じる、近所づきあいが大変、冬寒いからなどの意見がありました。

年齢別にみると、20代では「やりたい仕事がない」が2番目に多くあげられています。

図 恵那市以外で暮らしたい理由

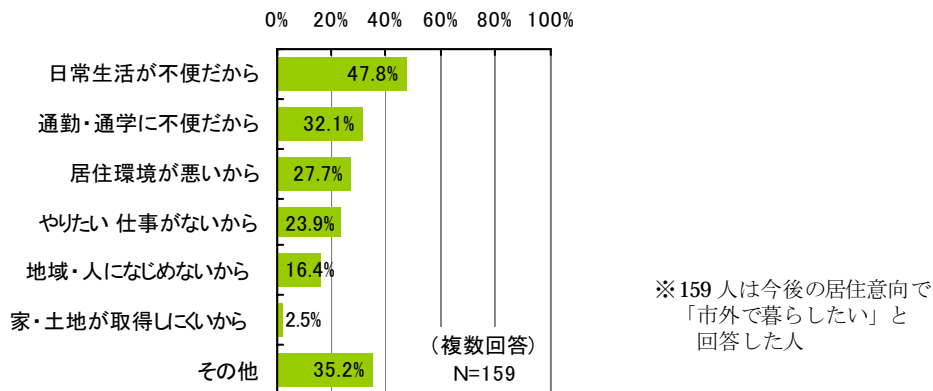


表 年齢別 市外で暮らしたい理由（上位3つ）

	1位		2位		3位	
20代	日常生活が不便	55.6%	やりたい仕事がない	44.4%	居住環境が悪い 通勤・通学に不便	36.1%
30代	日常生活が不便	50.0%	その他	44.7%	通勤・通学に不便	34.2%
40代	日常生活が不便 通勤・通学に不便	45.5%	—	—	居住環境が悪い	39.4%
50代	その他	47.8%	日常生活が不便	34.8%	通勤・通学に不便	21.7%
60代	日常生活が不便	42.9%	居住環境が悪い やりたい仕事がない	23.8%	—	—
70歳以上	日常生活が不便	42.9%	通勤・通学に不便 その他	28.6%	—	—

② 施策の満足度・重要度

◆設問7「満足度と重要度をお答えください。」

1) 個別施策の満足度（設問7）

個別施策 55 項目に対する満足度を 5 段階評価で尋ねました。「満足」と「やや満足」をあわせた満足度が最も高かったのは「上水道の整備」で 46.0%、次いで「ごみ収集と処理サービス」の 44.4%となっています。一方、「不満」と「やや不満」をあわせた不満度が最も高かったのは「商店街のにぎわい」で 54.7%、次いで「魅力ある働く場の確保」の 52.8%となっています。

図 施策の満足度（1）

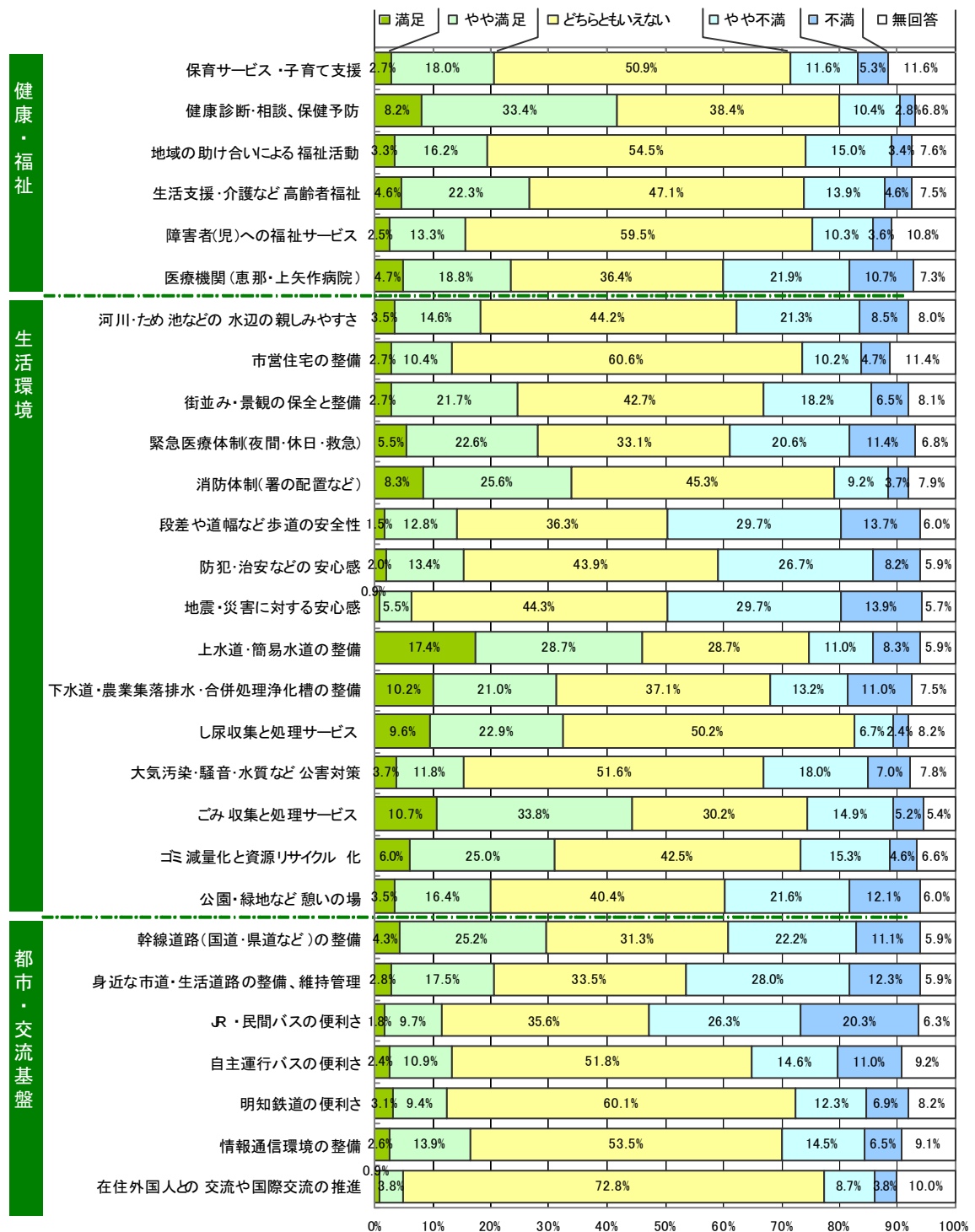
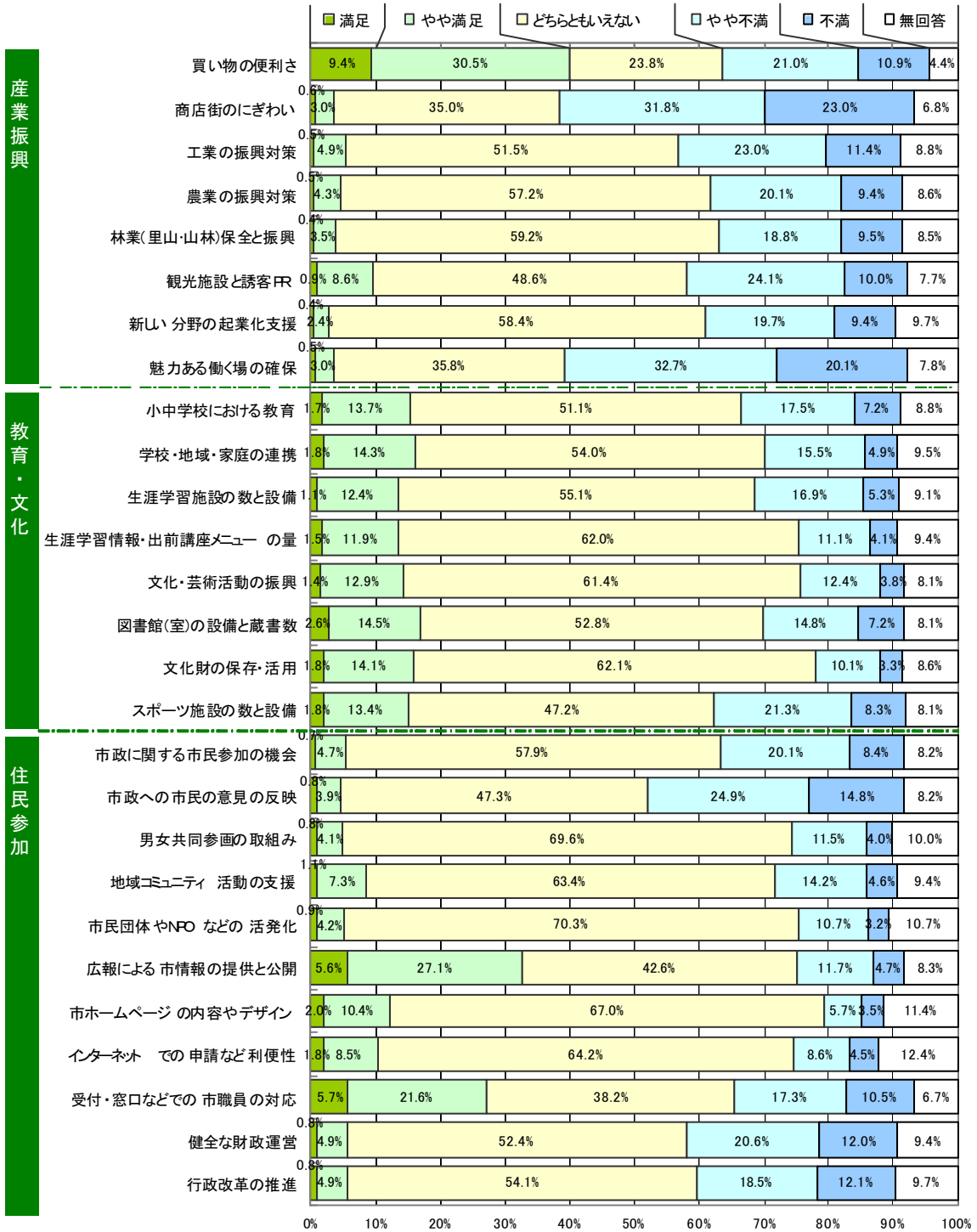


図 施策の満足度（２）



2) 個別施策の重要度（設問 7）

個別施策 55 項目に対する重要度を 5 段階評価で尋ねました。「高い」と「やや高い」をあわせた重要度が最も高かったのは「緊急医療体制（夜間・休日・救急）」で 68.6%、次いで「ごみ収集と処理サービス」64.9%、「医療機関（恵那・上矢作病院）」64.8%、「健康診断・相談、保健予防」63.3%となっており、保健・医療面での重要度が高くなっています。

図 施策の重要度（1）

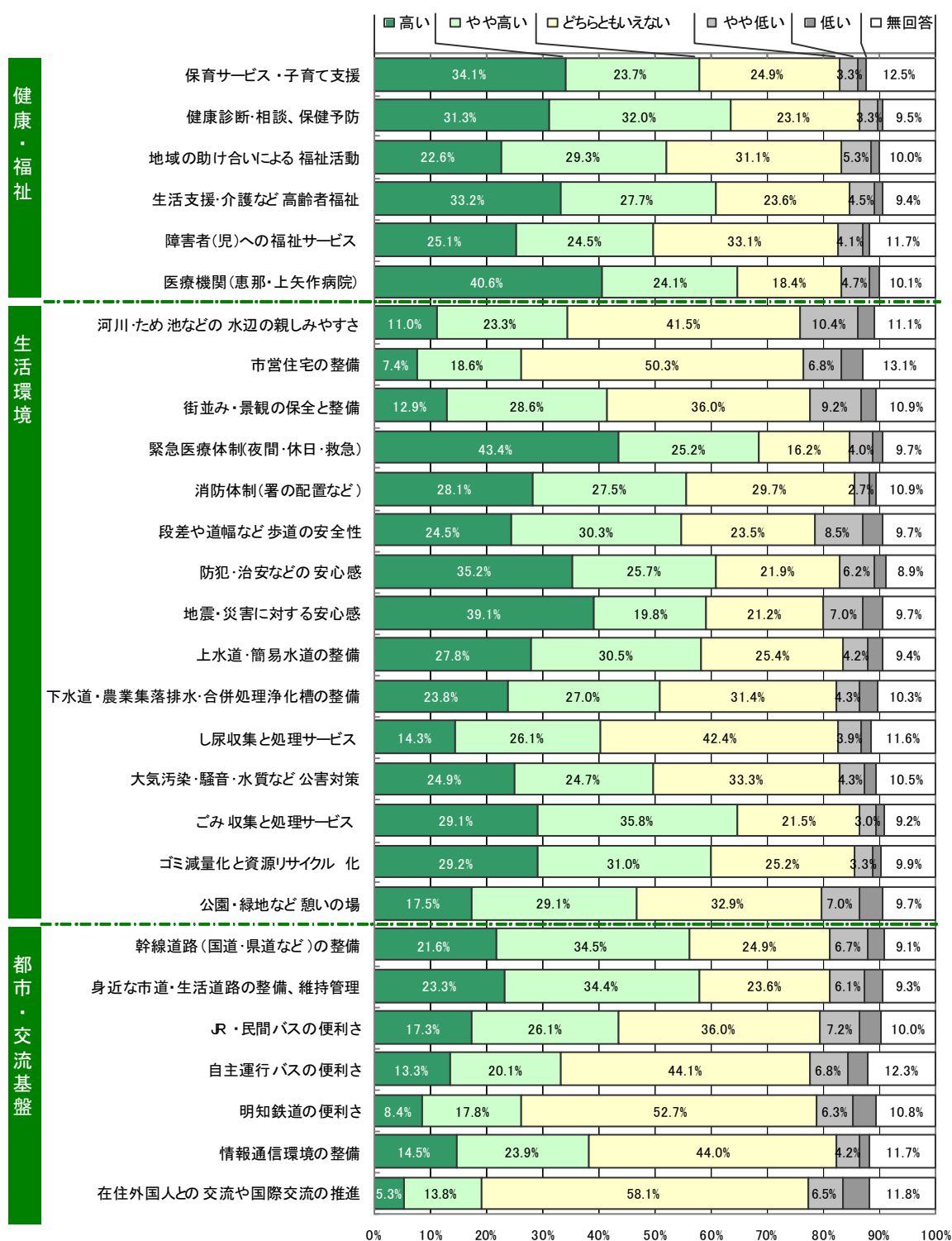
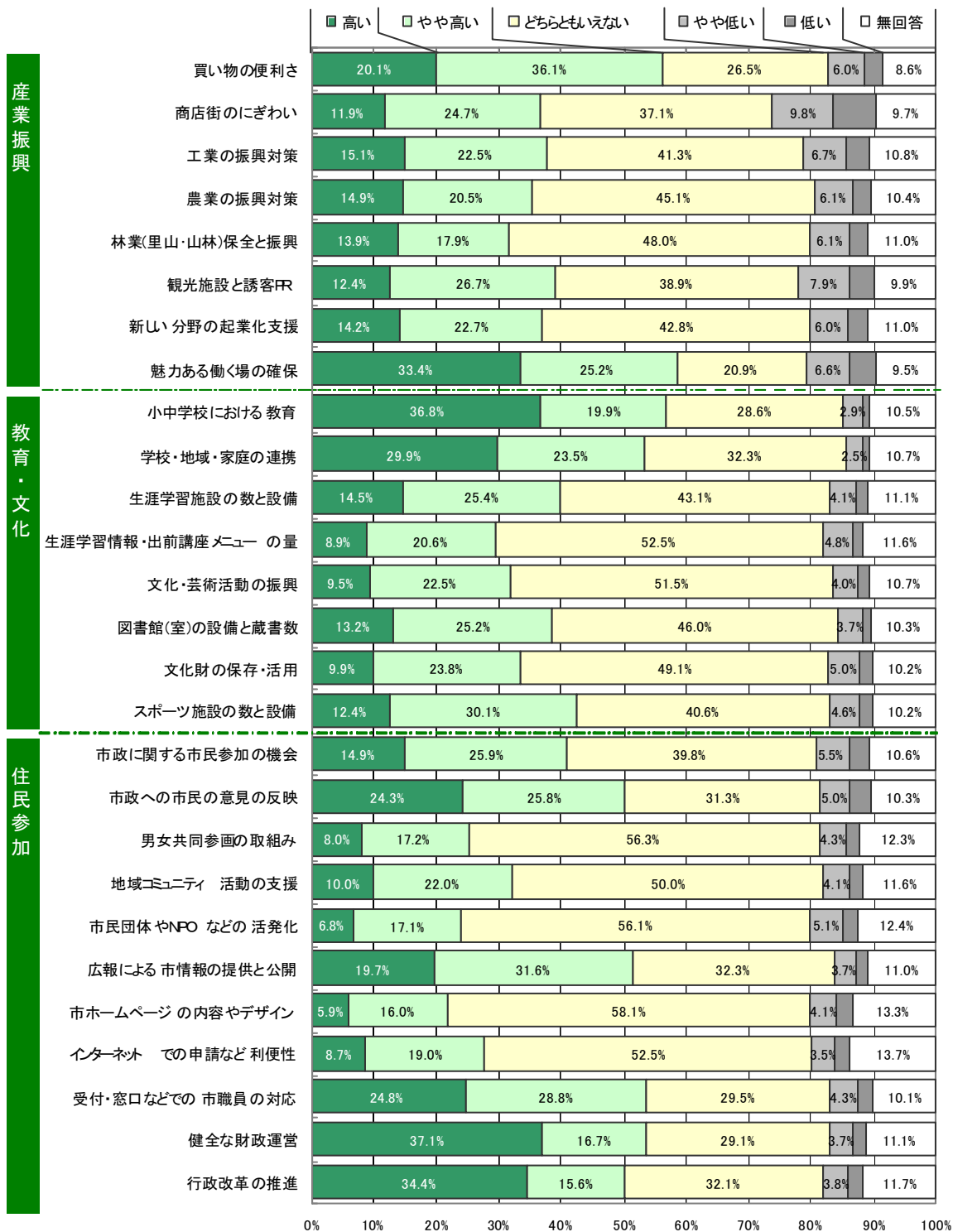


図 施策の重要度（２）



3) 年齢別、居住地別の満足度・不満度・重要度（設問7）

市全体及び年齢別、居住地別の満足度（満足＋やや満足）、不満度（やや不満＋不満）、重要度（高い＋やや高い）について、それぞれ上位10施策をあげると次のようになっています。

表 施策の満足度・不満度・重要度（上位10施策）

【全体】

	満足度の高い施策 10	満足度		不満度の高い施策 10	不満度		重要度の高い施策 10	重要度
1	上水道・簡易水道の整備	46.0%	1	商店街のにぎわい	54.7%	1	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	68.6%
2	ごみ収集と処理サービス	44.4%	2	魅力ある働く場の確保	52.8%	2	ごみ収集と処理サービス	64.9%
3	健康診断・相談、保健予防	41.6%	3	JR・民間バスの便利さ	46.6%	3	医療機関(恵那・上矢作病院)	64.8%
4	買い物の便利さ	39.9%	4	地震・災害に対する安心感	43.6%	4	健康診断・相談、保健予防	63.3%
5	消防体制(署の配置など)	33.9%	5	段差や道幅など歩道の安全性	43.4%	5	防犯・治安などの安心感	60.9%
6	広報による市情報の提供と公開	32.6%	6	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	40.3%	6	生活支援・介護など高齢者福祉	60.9%
7	し尿収集と処理サービス	32.5%	7	市政への市民の意見の反映	39.7%	7	ゴミ減量化と資源リサイクル化	60.2%
8	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	31.2%	8	防犯・治安などの安心感	34.9%	8	地震・災害に対する安心感	58.9%
9	ゴミ減量化と資源リサイクル化	31.0%	9	工業の振興対策	34.4%	9	魅力ある働く場の確保	58.5%
10	幹線道路(国道・県道など)の整備	29.4%	10	観光施設と誘客PR	34.1%	10	上水道・簡易水道の整備	58.3%

表 年齢別 個別施策の満足度・不満度・重要度（上位10施策）

【20代】

	満足度の高い施策 10	満足度		不満度の高い施策 10	不満度		重要度の高い施策 10	重要度
1	ごみ収集と処理サービス	32.3%	1	魅力ある働く場の確保	65.1%	1	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	77.2%
2	上水道・簡易水道の整備	29.6%	2	商店街のにぎわい	58.7%	2	防犯・治安などの安心感	76.7%
3	買い物の便利さ	29.6%	3	地震・災害に対する安心感	54.0%	3	医療機関(恵那・上矢作病院)	75.1%
4	消防体制(署の配置など)	27.5%	4	JR・民間バスの便利さ	49.2%	4	地震・災害に対する安心感	73.5%
5	健康診断・相談、保健予防	27.0%	5	公園・緑地など憩いの場	47.6%	5	魅力ある働く場の確保	70.9%
6	広報による市情報の提供と公開	27.0%	6	スポーツ施設の数と設備	46.0%	6	保育サービス・子育て支援	67.2%
7	幹線道路(国道・県道など)の整備	24.9%	7	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	45.5%	7	健康診断・相談、保健予防	65.6%
8	街並み・景観の保全と整備	23.8%	8	買い物の便利さ	45.5%	8	ゴミ減量化と資源リサイクル化	65.6%
9	ゴミ減量化と資源リサイクル化	23.3%	9	医療機関(恵那・上矢作病院)	44.4%	9	買い物の便利さ	64.0%
10	受付・窓口などでの市職員の対応	23.3%	10	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	42.9%	10	生活支援・介護など高齢者福祉	63.0%

【30代】

	満足度の高い施策 10	満足度		不満度の高い施策 10	不満度		重要度の高い施策 10	重要度
1	上水道・簡易水道の整備	34.1%	1	商店街のにぎわい	59.6%	1	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	80.3%
2	買い物の便利さ	32.7%	2	魅力ある働く場の確保	59.2%	2	地震・災害に対する安心感	78.5%
3	ごみ収集と処理サービス	31.8%	3	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	50.2%	3	防犯・治安などの安心感	77.1%
4	幹線道路(国道・県道など)の整備	27.4%	4	段差や道幅など歩道の安全性	50.2%	4	医療機関(恵那・上矢作病院)	75.3%
5	健康診断・相談、保健予防	26.0%	5	地震・災害に対する安心感	50.2%	5	魅力ある働く場の確保	74.9%
6	河川・ため池などの水辺の親しみやすさ	24.2%	6	公園・緑地など憩いの場	49.8%	6	保育サービス・子育て支援	74.0%
7	消防体制(署の配置など)	24.2%	7	JR・民間バスの便利さ	49.3%	7	ゴミ減量化と資源リサイクル化	71.3%
8	広報による市情報の提供と公開	23.8%	8	防犯・治安などの安心感	43.0%	8	小中学校における教育	71.3%
9	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	22.4%	9	スポーツ施設の数と設備	42.2%	9	段差や道幅など歩道の安全性	69.1%
10	ゴミ減量化と資源リサイクル化	20.6%	10	市政への市民の意見の反映	42.2%	10	公園・緑地など憩いの場	68.6%

【40代】

	満足度の高い施策 10	満足度		不満度の高い施策 10	不満度		重要度の高い施策 10	重要度
1	買い物の便利さ	38.5%	1	魅力ある働く場の確保	58.8%	1	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	77.5%
2	上水道・簡易水道の整備	37.8%	2	JR・民間バスの便利さ	58.4%	2	防犯・治安などの安心感	71.4%
3	ごみ収集と処理サービス	32.8%	3	商店街のにぎわい	57.3%	3	地震・災害に対する安心感	71.0%
4	健康診断・相談、保健予防	31.7%	4	地震・災害に対する安心感	53.1%	4	医療機関(恵那・上矢作病院)	69.8%
5	広報による市情報の提供と公開	27.1%	5	段差や道幅など歩道の安全性	52.3%	5	魅力ある働く場の確保	68.3%
6	消防体制(署の配置など)	24.4%	6	市政への市民の意見の反映	46.6%	6	保育サービス・子育て支援	67.9%
7	し尿収集と処理サービス	22.9%	7	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	45.0%	7	ごみ収集と処理サービス	67.9%
8	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	22.5%	8	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	44.3%	8	小中学校における教育	67.9%
9	ゴミ減量化と資源リサイクル化	21.0%	9	スポーツ施設の数と設備	43.5%	9	健康診断・相談、保健予防	67.6%
10	街並み・景観の保全と整備	21.0%	10	防犯・治安などの安心感	40.8%	10	生活支援・介護など高齢者福祉	66.8%

【50代】

	満足度の高い施策 10	満足度		不満度の高い施策 10	不満度		重要度の高い施策 10	重要度
1	上水道・簡易水道の整備	47.2%	1	商店街のにぎわい	57.6%	1	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	72.7%
2	ごみ収集と処理サービス	45.6%	2	魅力ある働く場の確保	56.0%	2	ごみ収集と処理サービス	72.7%
3	健康診断・相談、保健予防	43.0%	3	JR・民間バスの便利さ	49.9%	3	生活支援・介護など高齢者福祉	70.3%
4	買い物の便利さ	39.3%	4	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	45.6%	4	健康診断・相談、保健予防	68.7%
5	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	35.5%	5	市政への市民の意見の反映	44.3%	5	医療機関(恵那・上矢作病院)	68.2%
6	し尿収集と処理サービス	35.5%	6	段差や道幅など歩道の安全性	43.5%	6	ゴミ減量化と資源リサイクル化	66.6%
7	消防体制(署の配置など)	34.2%	7	工業の振興対策	42.2%	7	魅力ある働く場の確保	65.8%
8	広報による市情報の提供と公開	32.1%	8	地震・災害に対する安心感	41.9%	8	上水道・簡易水道の整備	65.5%
9	ゴミ減量化と資源リサイクル化	31.6%	9	健全な財政運営	37.1%	9	防犯・治安などの安心感	64.5%
10	生活支援・介護など高齢者福祉	30.2%	10	行政改革の推進	37.1%	10	消防体制(署の配置など)	63.9%

【60代】

	満足度の高い施策 10	満足度		不満度の高い施策 10	不満度		重要度の高い施策 10	重要度
1	上水道・簡易水道の整備	59.4%	1	商店街のにぎわい	53.8%	1	ごみ収集と処理サービス	65.5%
2	ごみ収集と処理サービス	57.5%	2	魅力ある働く場の確保	48.9%	2	健康診断・相談、保健予防	60.6%
3	健康診断・相談、保健予防	53.2%	3	JR・民間バスの便利さ	42.2%	3	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	60.0%
4	買い物の便利さ	52.3%	4	段差や道幅など歩道の安全性	41.2%	4	上水道・簡易水道の整備	60.0%
5	ゴミ減量化と資源リサイクル化	44.3%	5	地震・災害に対する安心感	40.9%	5	ゴミ減量化と資源リサイクル化	58.2%
6	し尿収集と処理サービス	43.1%	6	市政への市民の意見の反映	38.8%	6	医療機関(恵那・上矢作病院)	57.8%
7	消防体制(署の配置など)	40.3%	7	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	37.5%	7	買い物の便利さ	56.3%
8	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	40.0%	8	林業(里山・山林)保全と振興	37.2%	8	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	55.7%
9	広報による市情報の提供と公開	39.7%	9	工業の振興対策	35.4%	9	消防体制(署の配置など)	55.4%
10	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	37.5%	10	幹線道路(国道・県道など)の整備	33.5%	10	幹線道路(国道・県道など)の整備	55.4%

【70 歳以上】

	満足度の高い施策 10	満足度		不満度の高い施策 10	不満度		重要度の高い施策 10	重要度
1	上水道・簡易水道の整備	56.1%	1	商店街のにぎわい	43.6%	1	上水道・簡易水道の整備	56.4%
2	健康診断・相談、保健予防	55.7%	2	段差や道幅など歩道の安全性	36.1%	2	ごみ収集と処理サービス	53.4%
3	ごみ収集と処理サービス	54.8%	3	魅力ある働く場の確保	35.7%	3	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	51.8%
4	し尿収集と処理サービス	46.9%	4	JR・民間バスの利便さ	33.4%	4	健康診断・相談、保健予防	51.5%
5	消防体制(署の配置など)	44.9%	5	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	31.1%	5	医療機関(恵那・上矢作病院)	49.8%
6	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	43.0%	6	地震・災害に対する安心感	28.9%	6	消防体制(署の配置など)	48.5%
7	広報による市情報の提供と公開	40.7%	7	林業(里山・山林)保全と振興	28.9%	7	受付・窓口などでの市職員の対応	47.2%
8	買い物の利便さ	40.3%	8	買い物の利便さ	28.2%	8	幹線道路(国道・県道など)の整備	46.6%
9	受付・窓口などでの市職員の対応	40.0%	9	市政への市民の意見の反映	27.9%	9	生活支援・介護など高齢者福祉	46.2%
10	医療機関(恵那・上矢作病院)	38.4%	10	農業の振興対策	27.2%	10	広報による市情報の提供と公開	45.9%

表 居住地別 個別施策の満足度・不満度・重要度(上位10施策)

【大井町】

	満足度の高い施策 10	満足度		不満度の高い施策 10	不満度		重要度の高い施策 10	重要度
1	買い物の利便さ	48.9%	1	商店街のにぎわい	62.9%	1	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	71.0%
2	上水道・簡易水道の整備	41.4%	2	魅力ある働く場の確保	50.2%	2	ごみ収集と処理サービス	66.8%
3	ごみ収集と処理サービス	40.4%	3	段差や道幅など歩道の安全性	46.6%	3	防犯・治安などの安心感	65.8%
4	健康診断・相談、保健予防	37.1%	4	観光施設と誘客PR	43.6%	4	ゴミ減量化と資源リサイクル化	65.1%
5	広報による市情報の提供と公開	33.2%	5	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	42.7%	5	健康診断・相談、保健予防	63.8%
6	ゴミ減量化と資源リサイクル化	32.9%	6	地震・災害に対する安心感	41.4%	6	医療機関(恵那・上矢作病院)	63.2%
7	消防体制(署の配置など)	31.6%	7	JR・民間バスの利便さ	39.4%	7	地震・災害に対する安心感	63.2%
8	受付・窓口などでの市職員の対応	28.0%	8	医療機関(恵那・上矢作病院)	37.5%	8	生活支援・介護など高齢者福祉	62.5%
9	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	26.4%	9	市政への市民の意見の反映	37.5%	9	段差や道幅など歩道の安全性	62.2%
10	幹線道路(国道・県道など)の整備	26.1%	10	防犯・治安などの安心感	37.1%	10	買い物の利便さ	60.9%

【長島町】

	満足度の高い施策 10	満足度		不満度の高い施策 10	不満度		重要度の高い施策 10	重要度
1	買い物の利便さ	54.8%	1	商店街のにぎわい	57.8%	1	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	70.0%
2	上水道・簡易水道の整備	47.9%	2	地震・災害に対する安心感	47.9%	2	医療機関(恵那・上矢作病院)	67.7%
3	ごみ収集と処理サービス	47.1%	3	段差や道幅など歩道の安全性	45.2%	3	防犯・治安などの安心感	66.2%
4	広報による市情報の提供と公開	41.8%	4	魅力ある働く場の確保	45.2%	4	ごみ収集と処理サービス	65.8%
5	健康診断・相談、保健予防	38.4%	5	防犯・治安などの安心感	40.7%	5	ゴミ減量化と資源リサイクル化	64.3%
6	ゴミ減量化と資源リサイクル化	36.9%	6	観光施設と誘客PR	40.3%	6	買い物の利便さ	62.7%
7	幹線道路(国道・県道など)の整備	33.5%	7	JR・民間バスの利便さ	39.9%	7	保育サービス・子育て支援	62.4%
8	消防体制(署の配置など)	32.7%	8	医療機関(恵那・上矢作病院)	35.7%	8	健康診断・相談、保健予防	61.6%
9	受付・窓口などでの市職員の対応	32.3%	9	公園・緑地など憩いの場	34.6%	9	生活支援・介護など高齢者福祉	61.6%
10	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	28.9%	10	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	34.2%	10	地震・災害に対する安心感	60.1%

【東野】

	満足度の高い施策 10	満足度		不満度の高い施策 10	不満度		重要度の高い施策 10	重要度
1	買い物の便利さ	61.2%	1	地震・災害に対する安心感	44.8%	1	医療機関(恵那・上矢作病院)	70.1%
2	上水道・簡易水道の整備	56.7%	2	JR・民間バスの便利さ	41.8%	2	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	70.1%
3	健康診断・相談・保健予防	49.3%	3	段差や道幅など歩道の安全性	40.3%	3	健康診断・相談・保健予防	67.2%
4	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	46.3%	4	商店街のにぎわい	37.3%	4	地震・災害に対する安心感	65.7%
5	し尿収集と処理サービス	43.3%	5	魅力ある働場の確保	37.3%	5	ごみ収集と処理サービス	65.7%
6	ごみ収集と処理サービス	43.3%	6	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	35.8%	6	防犯・治安などの安心感	64.2%
7	広報による市情報の提供と公開	40.3%	7	大気汚染・騒音・水質など公害対策	34.3%	7	生活支援・介護など高齢者福祉	62.7%
8	消防体制(署の配置など)	38.8%	8	防犯・治安などの安心感	32.8%	8	ゴミ減量化と資源リサイクル化	62.7%
9	ゴミ減量化と資源リサイクル化	37.3%	9	公園・緑地など憩いの場	29.9%	9	小中学校における教育	62.7%
10	生活支援・介護など高齢者福祉	34.3%	10	工業の振興対策	29.9%	10	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	59.7%

【三郷町】

	満足度の高い施策 10	満足度		不満度の高い施策 10	不満度		重要度の高い施策 10	重要度
1	ごみ収集と処理サービス	49.4%	1	JR・民間バスの便利さ	53.2%	1	ごみ収集と処理サービス	70.9%
2	健康診断・相談・保健予防	46.8%	2	魅力ある働場の確保	50.6%	2	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	64.6%
3	上水道・簡易水道の整備	44.3%	3	地震・災害に対する安心感	45.6%	3	上水道・簡易水道の整備	64.6%
4	ゴミ減量化と資源リサイクル化	43.0%	4	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	45.6%	4	健康診断・相談・保健予防	63.3%
5	広報による市情報の提供と公開	36.7%	5	商店街のにぎわい	44.3%	5	ゴミ減量化と資源リサイクル化	59.5%
6	買い物の便利さ	35.4%	6	段差や道幅など歩道の安全性	38.0%	6	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	58.2%
7	消防体制(署の配置など)	34.2%	7	農業の振興対策	36.7%	7	医療機関(恵那・上矢作病院)	57.0%
8	し尿収集と処理サービス	34.2%	8	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	35.4%	8	防犯・治安などの安心感	57.0%
9	幹線道路(国道・県道など)の整備	34.2%	9	幹線道路(国道・県道など)の整備	34.2%	9	地震・災害に対する安心感	57.0%
10	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	32.9%	10	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	34.2%	10	幹線道路(国道・県道など)の整備	55.7%

【武並町】

	満足度の高い施策 10	満足度		不満度の高い施策 10	不満度		重要度の高い施策 10	重要度
1	ごみ収集と処理サービス	40.6%	1	JR・民間バスの便利さ	52.1%	1	健康診断・相談・保健予防	68.8%
2	健康診断・相談・保健予防	39.6%	2	地震・災害に対する安心感	51.0%	2	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	68.8%
3	上水道・簡易水道の整備	36.5%	3	防犯・治安などの安心感	50.0%	3	ゴミ減量化と資源リサイクル化	65.6%
4	買い物の便利さ	33.3%	4	魅力ある働場の確保	50.0%	4	医療機関(恵那・上矢作病院)	64.6%
5	ゴミ減量化と資源リサイクル化	30.2%	5	商店街のにぎわい	49.0%	5	保育サービス・子育て支援	63.5%
6	広報による市情報の提供と公開	30.2%	6	段差や道幅など歩道の安全性	47.9%	6	ごみ収集と処理サービス	63.5%
7	消防体制(署の配置など)	28.1%	7	買い物の便利さ	43.8%	7	防犯・治安などの安心感	62.5%
8	し尿収集と処理サービス	28.1%	8	公園・緑地など憩いの場	41.7%	8	地震・災害に対する安心感	61.5%
9	幹線道路(国道・県道など)の整備	27.1%	9	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	39.6%	9	幹線道路(国道・県道など)の整備	61.5%
10	生活支援・介護など高齢者福祉	27.1%	10	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	38.5%	10	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	61.5%

【笠置町】

	満足度の高い施策 10	満足度		不満度の高い施策 10	不満度		重要度の高い施策 10	重要度
1	健康診断・相談・保健予防	50.7%	1	上水道・簡易水道の整備	78.3%	1	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	88.4%
2	ごみ収集と処理サービス	49.3%	2	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	69.6%	2	健康診断・相談・保健予防	78.3%
3	し尿収集と処理サービス	42.0%	3	JR・民間バスの便利さ	65.2%	3	幹線道路(国道・県道など)の整備	78.3%
4	ゴミ減量化と資源リサイクル化	39.1%	4	魅力ある働く場の確保	59.4%	4	医療機関(恵那・上矢作病院)	72.5%
5	保育サービス・子育て支援	33.3%	5	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	53.6%	5	防犯・治安などの安心感	71.0%
6	広報による市情報の提供と公開	33.3%	6	商店街のにぎわい	50.7%	6	上水道・簡易水道の整備	69.6%
7	買い物の便利さ	33.3%	7	市政への市民の意見の反映	50.7%	7	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	69.6%
8	医療機関(恵那・上矢作病院)	31.9%	8	地震・災害に対する安心感	44.9%	8	魅力ある働く場の確保	69.6%
9	街並み・景観の保全と整備	30.4%	9	農業の振興対策	44.9%	9	保育サービス・子育て支援	68.1%
10	幹線道路(国道・県道など)の整備	30.4%	10	観光施設と誘客PR	44.9%	10	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	68.1%

【中野方町】

	満足度の高い施策 10	満足度		不満度の高い施策 10	不満度		重要度の高い施策 10	重要度
1	ごみ収集と処理サービス	49.3%	1	魅力ある働く場の確保	55.1%	1	生活支援・介護など高齢者福祉	75.4%
2	健康診断・相談・保健予防	42.0%	2	JR・民間バスの便利さ	49.3%	2	ごみ収集と処理サービス	75.4%
3	し尿収集と処理サービス	40.6%	3	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	47.8%	3	健康診断・相談・保健予防	72.5%
4	広報による市情報の提供と公開	37.7%	4	買い物の便利さ	47.8%	4	医療機関(恵那・上矢作病院)	72.5%
5	ゴミ減量化と資源リサイクル化	36.2%	5	商店街のにぎわい	47.8%	5	ゴミ減量化と資源リサイクル化	66.7%
6	幹線道路(国道・県道など)の整備	36.2%	6	地震・災害に対する安心感	47.8%	6	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	66.7%
7	生活支援・介護など高齢者福祉	33.3%	7	工業の振興対策	42.0%	7	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	65.2%
8	受付・窓口などでの市職員の対応	27.5%	8	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	39.1%	8	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	65.2%
9	消防体制(署の配置など)	26.1%	9	市政への市民の意見の反映	37.7%	9	保育サービス・子育て支援	62.3%
10	大気汚染・騒音・水質など公害対策	24.6%	10	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	37.7%	10	消防体制(署の配置など)	60.9%

【飯地町】

	満足度の高い施策 10	満足度		不満度の高い施策 10	不満度		重要度の高い施策 10	重要度
1	ごみ収集と処理サービス	48.3%	1	JR・民間バスの便利さ	65.0%	1	医療機関(恵那・上矢作病院)	70.0%
2	健康診断・相談・保健予防	43.3%	2	買い物の便利さ	60.0%	2	幹線道路(国道・県道など)の整備	66.7%
3	上水道・簡易水道の整備	41.7%	3	幹線道路(国道・県道など)の整備	58.3%	3	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	65.0%
4	し尿収集と処理サービス	36.7%	4	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	55.0%	4	生活支援・介護など高齢者福祉	63.3%
5	ゴミ減量化と資源リサイクル化	36.7%	5	魅力ある働く場の確保	55.0%	5	健康診断・相談・保健予防	61.7%
6	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	35.0%	6	商店街のにぎわい	51.7%	6	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	61.7%
7	生活支援・介護など高齢者福祉	31.7%	7	林業(里山・山林)保全と振興	46.7%	7	買い物の便利さ	61.7%
8	広報による市情報の提供と公開	31.7%	8	段差や道幅など歩道の安全性	43.3%	8	魅力ある働く場の確保	61.7%
9	受付・窓口などでの市職員の対応	30.0%	9	農業の振興対策	41.7%	9	小中学校における教育	61.7%
10	地域の助け合いによる福祉活動	28.3%	10	観光施設と誘客PR	41.7%	10	消防体制(署の配置など)	60.0%

【岩村町】

	満足度の高い施策 10	満足度		不満度の高い施策 10	不満度		重要度の高い施策 10	重要度
1	上水道・簡易水道の整備	67.3%	1	JR・民間バスの便利さ	56.6%	1	ごみ収集と処理サービス	67.3%
2	買い物の便利さ	58.5%	2	商店街のにぎわい	54.1%	2	医療機関(恵那・上矢作病院)	64.2%
3	消防体制(署の配置など)	48.4%	3	魅力ある働く場の確保	54.1%	3	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	62.9%
4	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	48.4%	4	市政への市民の意見の反映	50.9%	4	上水道・簡易水道の整備	62.9%
5	ごみ収集と処理サービス	47.2%	5	公園・緑地など憩いの場	40.9%	5	魅力ある働く場の確保	62.9%
6	幹線道路(国道・県道など)の整備	39.6%	6	明知鉄道の便利さ	40.3%	6	消防体制(署の配置など)	62.3%
7	健康診断・相談・保健予防	38.4%	7	地震・災害に対する安心感	39.0%	7	健康診断・相談・保健予防	59.7%
8	街並み・景観の保全と整備	36.5%	8	健全な財政運営	37.7%	8	生活支援・介護など高齢者福祉	59.1%
9	し尿収集と処理サービス	32.1%	9	段差や道幅など歩道の安全性	36.5%	9	防犯・治安などの安心感	59.1%
10	生活支援・介護など高齢者福祉	27.0%	10	受付・窓口などでの市職員の対応	36.5%	10	買い物の便利さ	58.5%

【山岡町】

	満足度の高い施策 10	満足度		不満度の高い施策 10	不満度		重要度の高い施策 10	重要度
1	自主運行バスの便利さ	43.2%	1	魅力ある働く場の確保	59.3%	1	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	64.2%
2	健康診断・相談・保健予防	42.6%	2	商店街のにぎわい	50.6%	2	ごみ収集と処理サービス	64.2%
3	ごみ収集と処理サービス	40.1%	3	段差や道幅など歩道の安全性	47.5%	3	生活支援・介護など高齢者福祉	61.7%
4	上水道・簡易水道の整備	39.5%	4	JR・民間バスの便利さ	44.4%	4	医療機関(恵那・上矢作病院)	59.9%
5	し尿収集と処理サービス	39.5%	5	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	42.0%	5	健康診断・相談・保健予防	59.3%
6	幹線道路(国道・県道など)の整備	35.2%	6	地震・災害に対する安心感	40.7%	6	上水道・簡易水道の整備	59.3%
7	広報による市情報の提供と公開	35.2%	7	市政への市民の意見の反映	40.1%	7	ゴミ減量化と資源リサイクル化	58.0%
8	買い物の便利さ	30.9%	8	河川・ため池などの水辺の親しみやすさ	39.5%	8	保育サービス・子育て支援	57.4%
9	情報通信環境の整備	30.2%	9	工業の振興対策	39.5%	9	魅力ある働く場の確保	56.2%
10	保育サービス・子育て支援	29.6%	10	防犯・治安などの安心感	36.4%	10	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	56.2%

【明智町】

	満足度の高い施策 10	満足度		不満度の高い施策 10	不満度		重要度の高い施策 10	重要度
1	上水道・簡易水道の整備	47.7%	1	商店街のにぎわい	60.6%	1	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	66.3%
2	消防体制(署の配置など)	40.4%	2	魅力ある働く場の確保	54.4%	2	小中学校における教育	60.6%
3	ごみ収集と処理サービス	38.3%	3	段差や道幅など歩道の安全性	47.2%	3	魅力ある働く場の確保	60.1%
4	健康診断・相談・保健予防	35.2%	4	地震・災害に対する安心感	46.1%	4	ごみ収集と処理サービス	60.1%
5	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	32.1%	5	市政への市民の意見の反映	44.0%	5	学校・地域・家庭の連携	58.5%
6	し尿収集と処理サービス	31.6%	6	行政改革の推進	42.0%	6	生活支援・介護など高齢者福祉	56.5%
7	買い物の便利さ	30.6%	7	JR・民間バスの便利さ	40.9%	7	医療機関(恵那・上矢作病院)	56.0%
8	生活支援・介護など高齢者福祉	28.0%	8	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	39.9%	8	防犯・治安などの安心感	56.0%
9	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	28.0%	9	幹線道路(国道・県道など)の整備	39.4%	9	上水道・簡易水道の整備	56.0%
10	受付・窓口などでの市職員の対応	26.4%	10	医療機関(恵那・上矢作病院)	38.9%	10	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	54.9%

【串原】

	満足度の高い施策 10	満足度		不満度の高い施策 10	不満度		重要度の高い施策 10	重要度
1	上水道・簡易水道の整備	77.5%	1	買い物の便利さ	57.7%	1	健康診断・相談、保健予防	70.4%
2	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	70.4%	2	魅力ある働く場の確保	56.3%	2	上水道・簡易水道の整備	67.6%
3	健康診断・相談、保健予防	52.1%	3	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	47.9%	3	医療機関(恵那・上矢作病院)	63.4%
4	ごみ収集と処理サービス	52.1%	4	幹線道路(国道・県道など)の整備	42.3%	4	生活支援・介護など高齢者福祉	60.6%
5	情報通信環境の整備	49.3%	5	JR・民間バスの便利さ	39.4%	5	ごみ収集と処理サービス	60.6%
6	生活支援・介護など高齢者福祉	45.1%	6	工業の振興対策	39.4%	6	幹線道路(国道・県道など)の整備	60.6%
7	し尿収集と処理サービス	38.0%	7	商店街のにぎわい	38.0%	7	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	59.2%
8	地域の助け合いによる 福祉活動	36.6%	8	段差や道幅など歩道の安全性	35.2%	8	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	59.2%
9	広報による 市情報の提供と公開	36.6%	9	地震・災害に対する安心感	35.2%	9	小中学校における教育	59.2%
10	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	33.8%	10	市政への市民の意見の反映	32.4%	10	地震・災害に対する安心感	57.7%

【上矢作町】

	満足度の高い施策 10	満足度		不満度の高い施策 10	不満度		重要度の高い施策 10	重要度
1	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	68.2%	1	魅力ある働く場の確保	74.1%	1	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	81.2%
2	医療機関(恵那・上矢作病院)	58.8%	2	商店街のにぎわい	65.9%	2	医療機関(恵那・上矢作病院)	80.0%
3	健康診断・相談、保健予防	56.5%	3	工業の振興対策	64.7%	3	健康診断・相談、保健予防	69.4%
4	上水道・簡易水道の整備	55.3%	4	買い物の便利さ	57.6%	4	魅力ある働く場の確保	68.2%
5	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	51.8%	5	JR・民間バスの便利さ	56.5%	5	地震・災害に対する安心感	64.7%
6	ごみ収集と処理サービス	48.2%	6	市政への市民の意見の反映	55.3%	6	幹線道路(国道・県道など)の整備	64.7%
7	河川・ため池などの 水辺の親しみやすさ	47.1%	7	幹線道路(国道・県道など)の整備	54.1%	7	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	64.7%
8	し尿収集と処理サービス	43.5%	8	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	51.8%	8	上水道・簡易水道の整備	63.5%
9	消防体制(署の配置など)	41.2%	9	林業(里山・山林)保全と振興	50.6%	9	保育サービス・子育て支援	62.4%
10	生活支援・介護など高齢者福祉	35.3%	10	観光施設と誘客PR	45.9%	10	消防体制(署の配置など)	62.4%

4) 満足度・重要度指数（設問7）

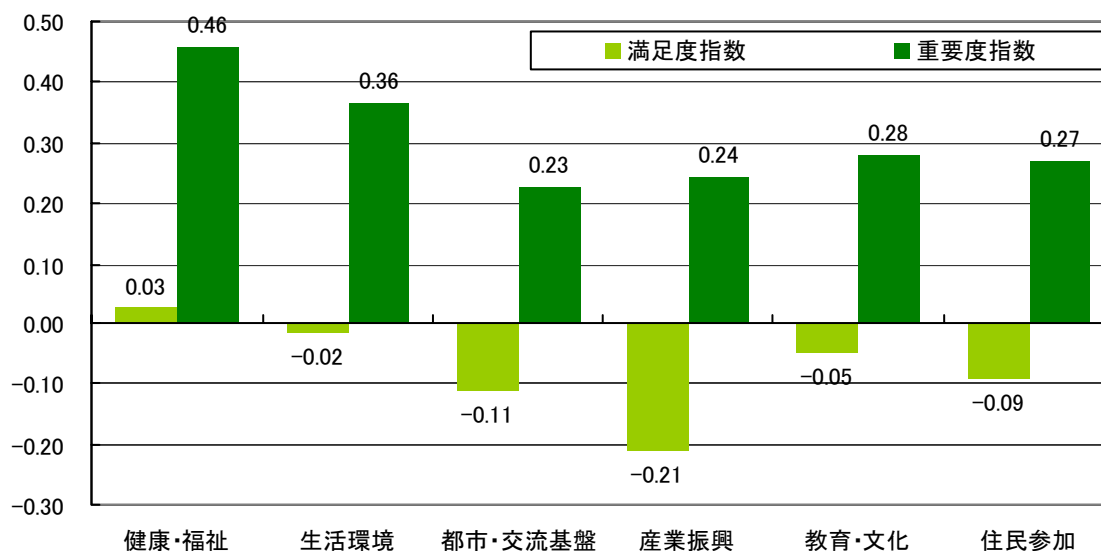
満足度と重要度について、次の表のように点数化し平均値をとったものを、満足度指数、重要度指数と呼び、施策分野別の数値を比較します。

満足度	重要度	点数
満足	高い	+1.0
やや満足	やや高い	+0.5
どちらともいえない	どちらともいえない	0
やや不満	やや低い	-0.5
不満	低い	-1.0

満足度指数で見ると、「健康・福祉」のみ満足と評価されており、「産業振興」で最も不満と評価されています。

重要度指数で見ると、「健康・福祉」、「生活環境」、「教育・文化」、「住民参加」、「産業振興」、「都市・交流基盤」の順に高くなっています。

図 施策分野別 満足度・重要度指数

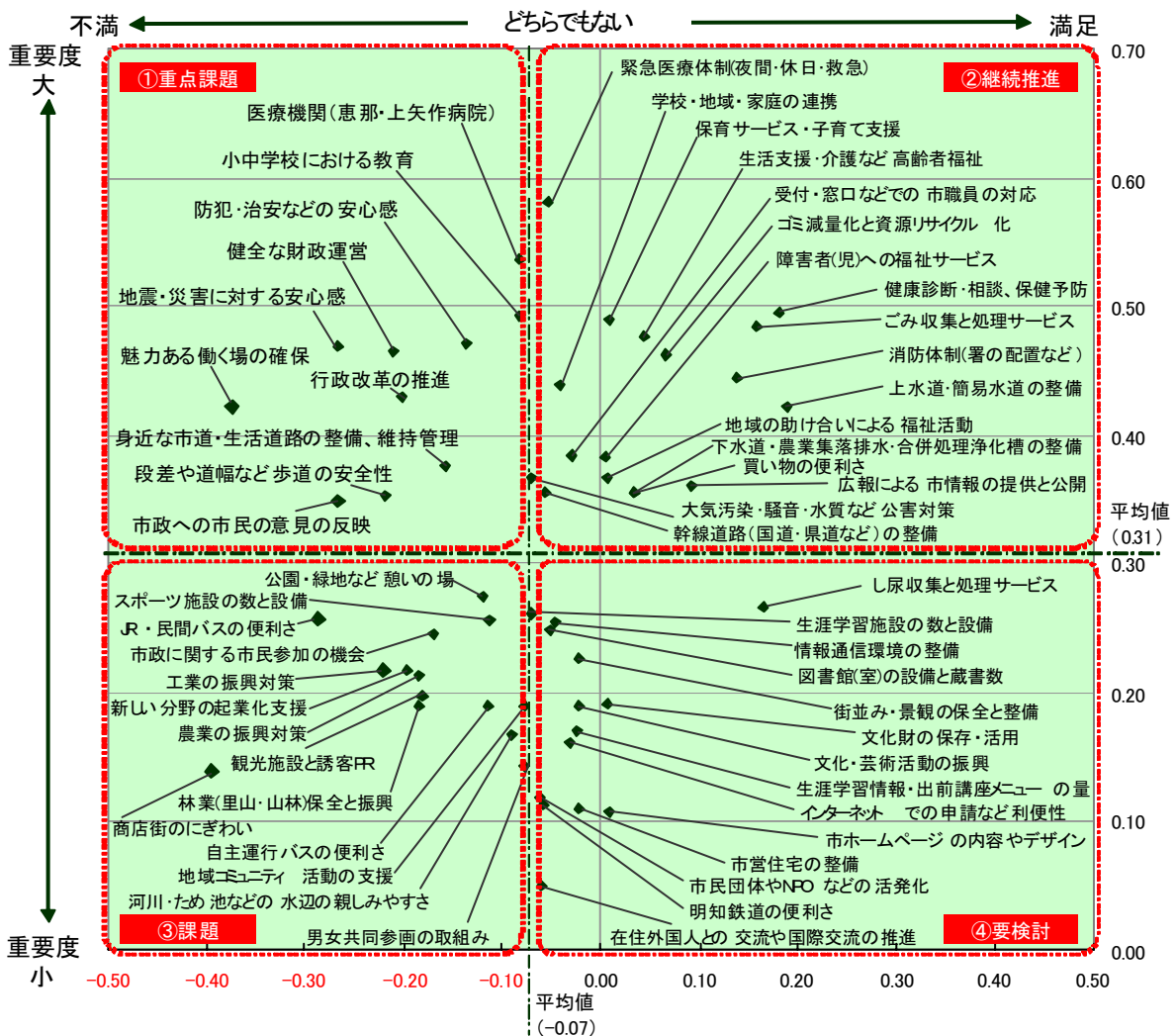


【満足度・重要度指数による各施策の評価】

満足度指数と重要度指数を2軸とするマトリクスを用いて各施策の評価を行うと以下の図のようになります。全施策について満足度指数の平均値は「-0.07」、重要度指数の平均値は「+0.31」であり、この平均値で区分される4つの領域のどこに分布しているかで各施策の評価を行います。

重要度指数が高く満足度指数が低い施策としては、健康・福祉に関して「医療機関」、生活環境に関して「防犯・治安などの安心感」、「地震・災害に対する安心感」、「段差や道幅など歩道の安全性」、都市・交流基盤に関して「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」、産業振興に関して「魅力ある働く場の確保」、教育・文化に関して「小中学校における教育」、住民参加に関して「健全な財政運営」、「行政改革の推進」、「市政への市民の意見の反映」があげられています。

図 満足度と重要度による施策評価マトリクス



区分	満足度指数	重要度指数	施策評価の目安
①重点課題	平均未満	平均以上	最も課題のある施策であり重点的に推進する
②継続推進	平均以上	平均以上	継続的に市民の満足度を得られるよう施策を推進する
③課題	平均未満	平均未満	課題のある施策であり必要性を検証し施策を推進する
④要検討	平均以上	平均未満	一定の成果が得られており継続の必要性を検証する

③ 個別の計画について

1) 子育てについて

●安心して子育てするために必要なこと

◆設問 8「安心して子どもを産み育てられる環境を整えるには、どのようなことが必要だと思いますか？」

安心して子どもを産み育てられる環境を整えるにはどのようなことが必要かを尋ねたところ、全体では「子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策」が41.5%で最も多く、次いで「乳児保育、延長保育、一時保育などの保育サービスの充実」が36.8%となっています。

年齢別にみると、20代では「子育て家庭に対する経済的な支援」が最も多く、次いで「育児休業制度など子育てと仕事が両立できるような就業環境の整備」があげられています。また、30代では「子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策」が最も多く、次いで「子育て家庭に対する経済的な支援」があげられています。

居住地別にみると、長島町では「子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策」が51.0%と半数を超えています。また、東野、岩村町、串原、上矢作町では「乳児保育、延長保育、一時保育などの保育サービスの充実」が最も多く、中野方町では「育児休業制度など子育てと仕事が両立できるような就業環境の整備」が最も多くあげられています。

図 安心して子育てするために必要なこと

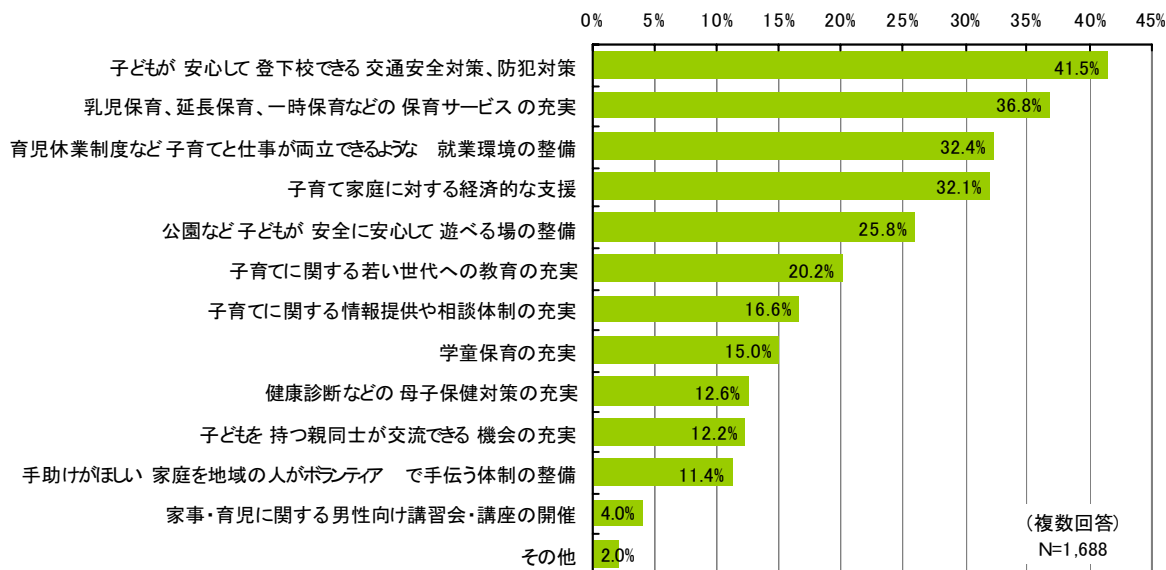


表 性別 安心して子育てするために必要なこと（上位3つ）

	1位		2位		3位	
男性	登下校の安全対策	39.7%	保育サービスの充実	36.5%	経済的な支援	35.6%
女性	登下校の安全対策	43.0%	保育サービスの充実	37.4%	就業環境の整備	32.2%

表 年齢別 安心して子育てするために必要なこと（上位3つ）

	1位		2位		3位	
20代	経済的な支援	48.7%	就業環境の整備	39.2%	登下校の安全対策	37.0%
30代	登下校の安全対策	49.8%	経済的な支援	43.9%	保育サービスの充実	40.4%
40代	登下校の安全対策	53.8%	保育サービスの充実	38.5%	就業環境の整備	32.4%
50代	就業環境の整備	41.9%	保育サービスの充実	39.5%	登下校の安全対策	39.0%
60代	登下校の安全対策	38.5%	保育サービスの充実	35.4%	就業環境の整備	30.8%
70歳以上	登下校の安全対策	34.4%	保育サービスの充実	32.8%	若い世代への教育	23.9%

表 居住地別 安心して子育てするために必要なこと（上位3つ）

	1位		2位		3位	
大井町	登下校の安全対策	41.4%	保育サービスの充実	38.8%	公園などの整備	33.2%
長島町	登下校の安全対策	51.0%	就業環境の整備	34.2%	保育サービスの充実	31.9%
東野	保育サービスの充実	41.8%	就業環境の整備	29.9%	登下校の安全対策	26.9%
三郷町	登下校の安全対策	43.0%	就業環境の整備	34.2%	経済的な支援	30.4%
武並町	登下校の安全対策	49.0%	経済的な支援	40.6%	保育サービスの充実	34.4%
笠置町	登下校の安全対策	44.9%	保育サービスの充実	43.5%	就業環境の整備	39.1%
中野方町	就業環境の整備	44.9%	保育サービスの充実 登下校の安全対策	43.5%		
飯地町	登下校の安全対策	38.3%	経済的な支援 就業環境の整備	35.0%		
岩村町	保育サービスの充実	41.5%	登下校の安全対策	37.1%	就業環境の整備	32.7%
山岡町	登下校の安全対策	40.1%	保育サービスの充実	37.7%	経済的な支援 就業環境の整備	33.3%
明智町	登下校の安全対策	43.0%	経済的な支援	38.9%	保育サービスの充実	35.8%
串原	保育サービスの充実	35.2%	経済的な支援	32.4%	就業環境の整備	28.2%
上矢作町	保育サービスの充実	45.9%	登下校の安全対策 就業環境の整備	32.9%		

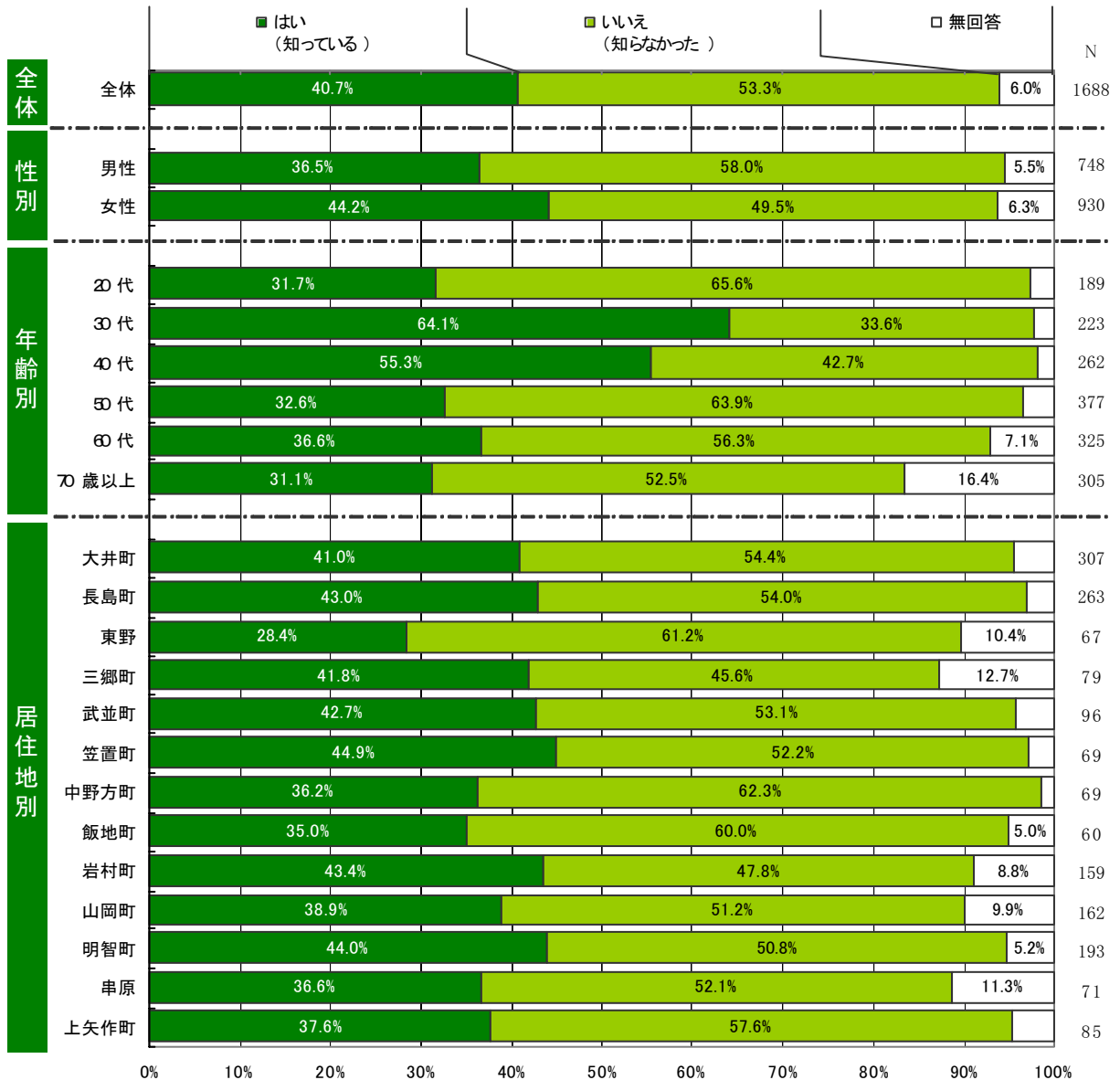
●乳幼児医療費の助成拡大の周知状況

◆設問 9「合併後、乳幼児医療費の助成が小学校卒業まで拡大されたことをご存知ですか？」

乳幼児医療費の助成制度については、合併前の旧市町村間で助成対象年齢に大きな格差があり、合併後、小学校卒業まで拡大されました（小学校就学後は所得制限あり）。そのことについて知っているかを尋ねたところ、全体では「知っている」と答えた方は全体の40.7%でした。

年齢別にみると、30代、40代では他の年代に比べて周知度が高く60%程度となっています。

図 乳幼児医療費の助成拡大の周知状況



2) 防災について

●災害に対して不安に思うこと

◆設問 10「地震や火災、大雨などの災害に対して、あなたが特に不安に思うことは何ですか？」

地震や火災、大雨などの災害に対して、特に不安に思うことを尋ねたところ、全体では「大地震により建物・家屋が倒壊すること」が61.4%、「地震や集中豪雨発生後、ライフラインが機能停止すること」が43.8%でこの2つが突出して多くなっています。

居住地別には、飯地町や串原では「地滑り・がけ崩れが起こること」が多く40%を超えています。

図 災害に対して不安に思うこと

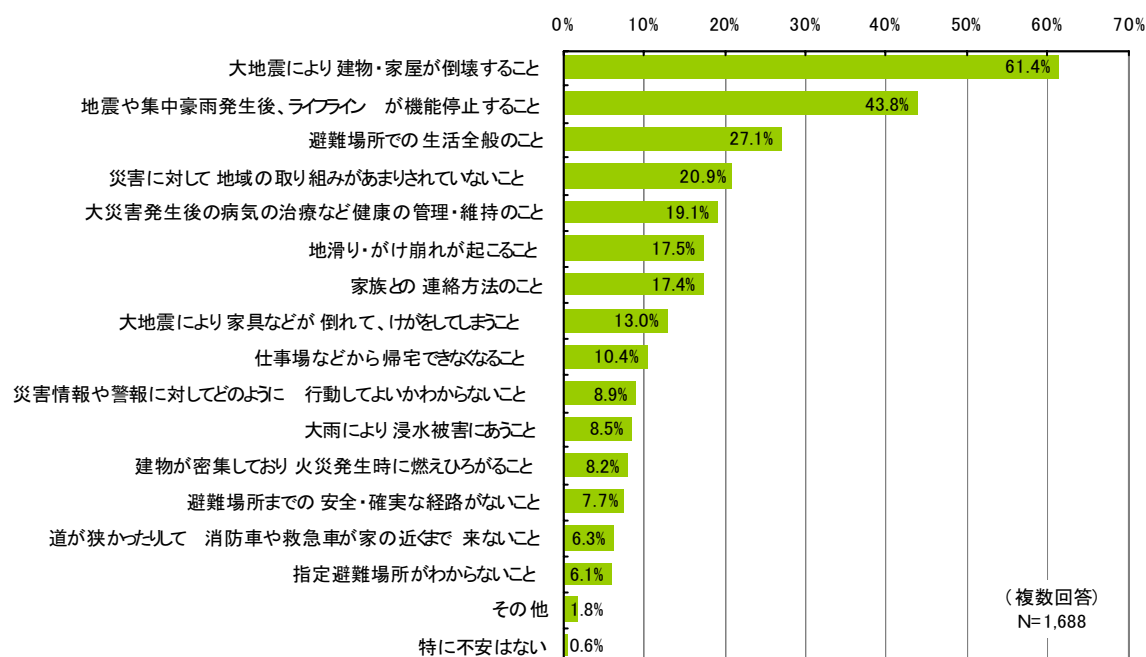


表 年齢別 災害に対して不安に思うこと（上位3つ）

	1位		2位		3位	
20代	建物・家屋の倒壊	63.5%	ライフライン機能	36.0%	避難場所での生活全般	33.3%
30代	建物・家屋の倒壊	61.9%	ライフライン機能	45.3%	避難場所での生活全般	38.1%
40代	建物・家屋の倒壊	66.4%	ライフライン機能	42.4%	避難場所での生活全般	33.2%
50代	建物・家屋の倒壊	62.1%	ライフライン機能	45.9%	避難場所での生活全般	26.5%
60代	建物・家屋の倒壊	58.8%	ライフライン機能	47.1%	地域の取り組み	26.5%
70歳以上	建物・家屋の倒壊	57.4%	ライフライン機能	42.6%	健康の管理・維持	21.6%

表 居住地別 災害に対して不安に思うこと（上位3つ）

	1位		2位		3位	
大井町	建物・家屋の倒壊	59.3%	ライフライン機能	41.4%	避難場所での生活全般	28.0%
長島町	建物・家屋の倒壊	62.4%	ライフライン機能	47.1%	避難場所での生活全般	30.4%
東野	建物・家屋の倒壊	67.2%	ライフライン機能	46.3%	避難場所での生活全般	32.8%
三郷町	建物・家屋の倒壊	64.6%	ライフライン機能	41.8%	地域の取り組み	32.9%
武並町	建物・家屋の倒壊	68.8%	ライフライン機能	39.6%	避難場所での生活全般	32.3%
笠置町	建物・家屋の倒壊	59.4%	ライフライン機能	33.3%	地滑り・がけ崩れ	31.9%
中野方町	建物・家屋の倒壊	58.0%	ライフライン機能	44.9%	地滑り・がけ崩れ	33.3%
飯地町	建物・家屋の倒壊	53.3%	地滑り・がけ崩れ	45.0%	ライフライン機能	41.7%
岩村町	建物・家屋の倒壊	67.3%	ライフライン機能	41.5%	避難場所での生活全般	24.5%
山岡町	建物・家屋の倒壊	61.7%	ライフライン機能	43.8%	避難場所での生活全般	29.0%
明智町	建物・家屋の倒壊	57.0%	ライフライン機能	44.6%	避難場所での生活全般	35.2%
串原	建物・家屋の倒壊	62.0%	ライフライン機能	47.9%	地滑り・がけ崩れ	43.7%
上矢作町	建物・家屋の倒壊	58.8%	ライフライン機能	55.3%	地滑り・がけ崩れ	32.9%

3) 公共交通について

●公共交通サービスの充実について望むこと

◆設問 11 「あなたは今後、どのような公共交通サービスが充実されることを望みますか？」

今後、どのような公共交通サービスが充実することを望むか尋ねたところ、全体では「JR・民間バスの利便性の向上を図る」が44.8%で最も多く、次いで「自主運行バスの利便性の向上及び利用促進を図る」が40.6%、「乗合タクシー・有償ボランティア輸送などの交通手段を導入する」が38.9%となっています。

年齢別にみると、50代以上では、「乗合タクシー・有償ボランティア輸送などの交通手段を導入する」が最も多くあげられています。

居住地別にみると、岩村町、明智町では「明知鉄道の利便性の向上及び利用促進を図る」が最も多く、笠置町、山岡町、串原、上矢作町では「自主運行バスの利便性の向上及び利用促進を図る」、三郷町、飯地町では「乗合タクシー・有償ボランティア輸送などの交通手段を導入する」が最も多くなっており、地域によって充実を望む公共サービスは異なります。

図 公共交通サービスの充実について望むこと

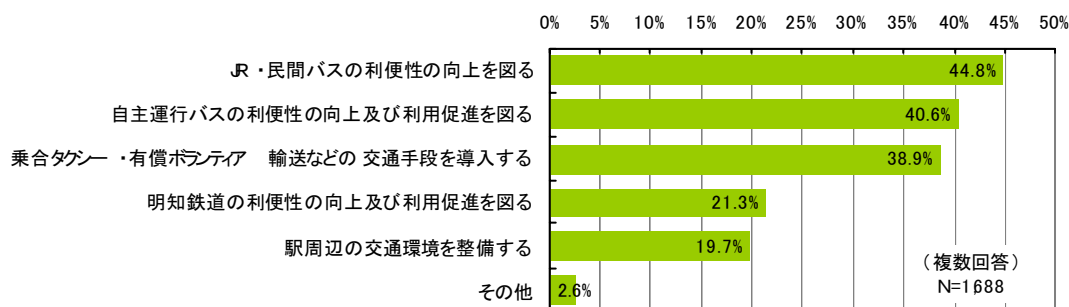


表 年齢別 公共交通サービスの充実について望むこと (上位3つ)

	1位		2位		3位	
20代	JR・民間バス	58.2%	駅周辺の整備 自主運行バス	28.6%		
30代	JR・民間バス	53.4%	自主運行バス	39.0%	乗合タクシー等	25.1%
40代	JR・民間バス	46.9%	自主運行バス	42.0%	乗合タクシー等	29.4%
50代	乗合タクシー等	51.7%	自主運行バス	44.8%	JR・民間バス	39.0%
60代	乗合タクシー等	47.4%	自主運行バス	43.4%	JR・民間バス	40.6%
70歳以上	乗合タクシー等	42.3%	JR・民間バス	40.7%	自主運行バス	40.0%

表 居住地別 公共交通サービスの充実について望むこと (上位3つ)

	1位		2位		3位	
大井町	JR・民間バス	54.7%	乗合タクシー等	41.4%	駅周辺の整備	29.6%
長島町	JR・民間バス	58.9%	自主運行バス	36.5%	乗合タクシー等	35.7%
東野	JR・民間バス 乗合タクシー等	43.3%			自主運行バス	26.9%
三郷町	乗合タクシー等	46.8%	自主運行バス	45.6%	JR・民間バス	44.3%
武並町	JR・民間バス	54.2%	乗合タクシー等	41.7%	自主運行バス	40.6%
笠置町	自主運行バス	60.9%	乗合タクシー等	56.5%	JR・民間バス	44.9%
中野方町	JR・民間バス	52.2%	乗合タクシー等	50.7%	自主運行バス	37.7%
飯地町	乗合タクシー等	56.7%	自主運行バス	38.3%	JR・民間バス	26.7%
岩村町	明知鉄道	60.4%	JR・民間バス	36.5%	自主運行バス	35.8%
山岡町	自主運行バス	61.7%	明知鉄道	37.7%	乗合タクシー等	29.6%
明智町	明知鉄道	44.6%	JR・民間バス	38.3%	乗合タクシー等	33.2%
串原	自主運行バス	67.6%	乗合タクシー等	46.5%	JR・民間バス	29.6%
上矢作町	自主運行バス	61.2%	乗合タクシー等	45.9%	JR・民間バス	37.6%

4) 情報通信について

●早期に実現してほしい情報通信基盤

◆設問 12「恵那市の情報通信基盤の整備に関して、早期に実現して欲しいものは次のうちどれですか？」

早期に実現してほしい情報通信基盤を尋ねたところ、全体では「携帯電話の不感地域の解消」が最も多く 35.5%、次いで「防災無線の整備、難聴地域の解消」が 29.0%となっています。

年齢別にみると、60代以上では「防災無線の整備、難聴地域の解消」が最も多くなっています。また、20代から40代では「高速・超高速インターネット環境の整備」が2番目に多くあげられています。

居住地別にみると、大井町、長島町、東野、武並町では「防災無線の整備、難聴地域の解消」が最も多くなっています。

図 早期に実現してほしい情報通信基盤

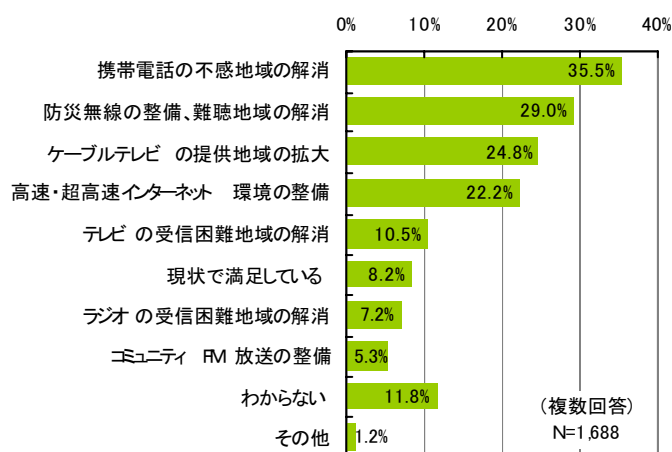


表 年齢別 早期に実現してほしい情報通信基盤（上位3つ）

	1位		2位		3位	
20代	携帯電話	56.6%	インターネット	39.7%	ケーブルテレビ	21.7%
30代	携帯電話	40.8%	インターネット	39.0%	ケーブルテレビ	29.1%
40代	携帯電話	42.0%	インターネット	31.3%	防災無線	28.2%
50代	携帯電話	39.5%	防災無線	29.2%	ケーブルテレビ	25.7%
60代	防災無線	38.2%	携帯電話	26.8%	ケーブルテレビ	26.5%
70歳以上	防災無線	35.1%	わからない	19.0%	ケーブルテレビ	18.4%

表 居住地別 早期に実現してほしい情報通信基盤（上位3つ）

	1位		2位		3位	
大井町	防災無線	38.4%	ケーブルテレビ	28.0%	インターネット	24.4%
長島町	防災無線	31.6%	携帯電話	28.1%	ケーブルテレビ	25.9%
東野	防災無線	28.4%	わからない	22.4%	インターネット	20.9%
三郷町	携帯電話	41.8%	防災無線	40.5%	ケーブルテレビ	21.5%
武並町	防災無線	44.8%	携帯電話	33.3%	インターネット	30.2%
笠置町	携帯電話	40.6%	ケーブルテレビ	36.2%	インターネット	31.9%
中野方町	携帯電話	46.4%	インターネット	34.8%	防災無線	23.2%
飯地町	携帯電話	65.0%	ケーブルテレビ	28.3%	インターネット	26.7%
岩村町	携帯電話	30.8%	防災無線	23.3%	ケーブルテレビ インターネット	17.0%
山岡町	携帯電話	41.4%	ケーブルテレビ	23.5%	インターネット	20.4%
明智町	携帯電話	41.5%	ケーブルテレビ 防災無線	28.0%		
串原	携帯電話	57.7%	防災無線	21.1%	現状で満足	18.3%
上矢作町	携帯電話	45.9%	ケーブルテレビ	31.8%	防災無線	24.7%

5) 産業振興について

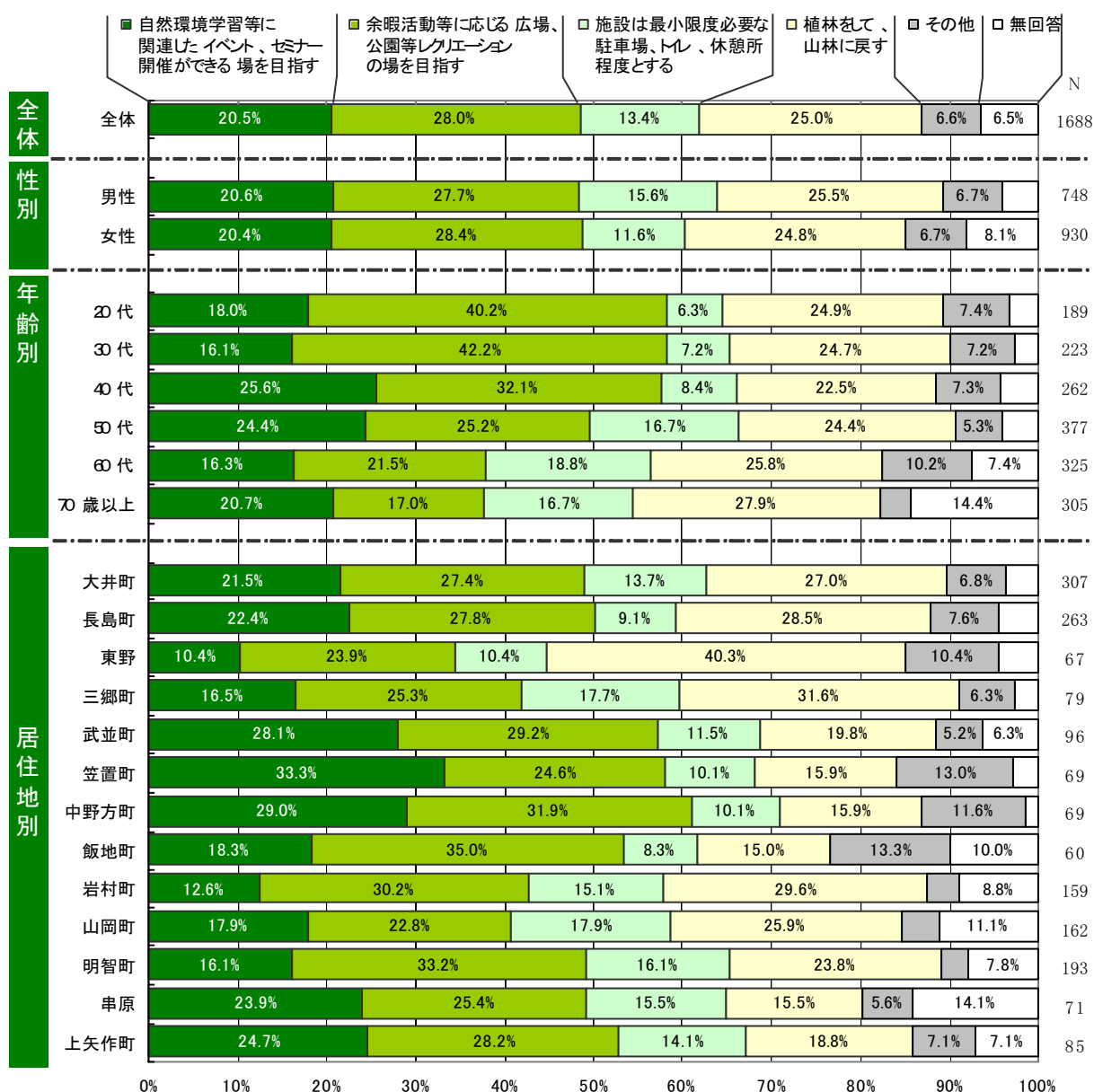
●グリーンピア恵那跡地の活用について

◆設問 13 「昨年、恵那市が取得したグリーンピア恵那跡地についてどのように活用したらよいと思いますか？」

昨年、恵那市が取得したグリーンピア恵那跡地についてどのように活用したらよいかを尋ねたところ、全体では「余暇活動等に応じる広場、公園等レクリエーションの場を目指す」が28.0%、「自然環境学習等に関連したイベント、セミナーの開催ができる場を目指す」が20.5%となっており、一方で「植林をして、山林に戻す」が25.0%と意見が分かれています。

年齢別にみると、20代から30代で「余暇活動等に応じる広場、公園等レクリエーションの場を目指す」の回答割合が他の年代に比べて高くなっています。

図 グリーンピア恵那跡地の活用について



●「活力あるまち」にするために重要な取り組み

◆設問 14「恵那市を「活力あるまち」にするために、どのような取り組みが重要だと思いますか？」

恵那市を「活力あるまち」にするために、どのような取り組みが重要かを尋ねたところ、全体では「自然環境や地域資源を活かした観光振興を進め、恵那市に訪れる交流人口を増やす」が最も多く 33.1%、次いで「新たな産業の育成や起業を支援し、意欲ある人が活躍できる環境を整える」が 30.0%となっています。

年齢別にみると、50代、60代では「新たな産業の育成や起業を支援し、意欲ある人が活躍できる環境を整える」が最も多くあげられています。また、20代、30代では「集客力の大きな大型店舗などを誘致する」が2番目に多くあげられており、70歳以上では「地産地商や観光との連携などによる農業の活性化を進める」が2番目に多くなっています。

居住地別にみると、旧恵那市と串原では「自然環境や地域資源を活かした観光振興を進め、恵那市に訪れる交流人口を増やす」が最も多く、中野方町、山岡町、明智町、串原では「新たな産業の育成や起業を支援し、意欲ある人が活躍できる環境を整える」、上矢作町では「地域の資源や特徴を生かして地場産業を盛り上げる」、岩村町では「商店街が活気づくようにまち並みの整備や空き店舗対策を行う」が最も多くなっています。

また、職業別にみると、パート・アルバイトでは「新たな産業の育成や起業を支援し、意欲ある人が活躍できる環境を整える」が最も多くなっています。

図 「活力あるまち」にするために重要な取り組み

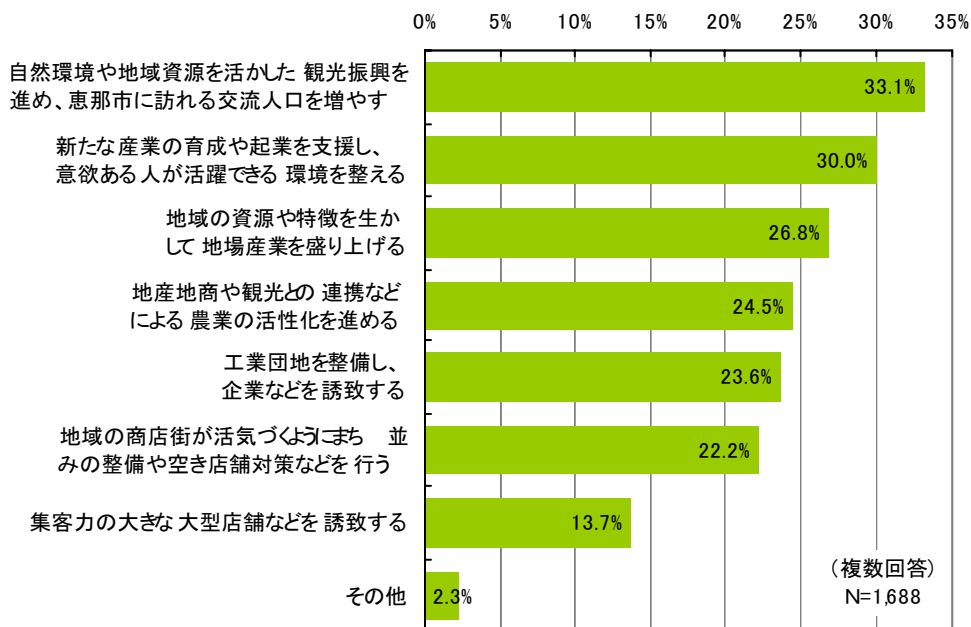


表 年齢別「活力あるまち」にするために重要な取り組み（上位3つ）

	1位		2位		3位	
20代	観光振興	37.0%	大きな店舗の誘致	31.7%	商店街	28.6%
30代	観光振興	31.8%	大きな店舗の誘致	28.3%	企業誘致	25.6%
40代	観光振興	38.2%	産業育成・起業支援	32.8%	地場産業	29.0%
50代	産業育成・起業支援	37.4%	観光振興	30.5%	地場産業	29.2%
60代	産業育成・起業支援	32.9%	観光振興	32.0%	地場産業	31.7%
70歳以上	観光振興	32.1%	農業の活性化	30.5%	地場産業	29.5%

表 居住地別「活力あるまち」にするために重要な取り組み（上位3つ）

	1位		2位		3位	
大井町	観光振興	38.8%	商店街	27.0%	産業育成・起業支援	23.8%
長島町	観光振興	37.3%	産業育成・起業支援	29.7%	商店街	27.8%
東野	観光振興	32.8%	産業育成・起業支援	31.3%	企業誘致	28.4%
三郷町	観光振興	31.6%	農業の活性化	30.4%	地場産業 産業育成・起業支援	27.8%
武並町	観光振興	38.5%	農業の活性化	29.2%	商店街	27.1%
笠置町	観光振興	36.2%	産業育成・起業支援	33.3%	農業の活性化	30.4%
中野方町	観光振興 産業育成・起業支援	42.0%			農業の活性化 企業誘致	24.6%
飯地町	観光振興	43.3%	地場産業 産業育成・起業支援	28.3%		
岩村町	商店街	29.6%	地場産業	27.7%	農業の活性化	26.4%
山岡町	産業育成・起業支援	42.0%	地場産業	36.4%	観光振興	29.0%
明智町	産業育成・起業支援	32.6%	企業誘致	31.1%	商店街	28.5%
串原	観光振興 産業育成・起業支援	39.4%			地場産業	31.0%
上矢作町	地場産業	45.9%	農業の活性化	36.5%	産業育成・起業支援	27.1%

表 職業別「活力あるまち」にするために重要な取り組み（上位3つ）

	1位		2位		3位	
農業・林業	農業の活性化	44.7%	地場産業	37.4%	観光振興	30.1%
自営製造業	商店街	37.3%	観光振興	31.4%	産業育成・起業支援	27.5%
自営商業・サービス業	商店街	37.8%	観光振興	34.5%	産業育成・起業支援	32.8%
会社員・団体職員	観光振興	34.7%	産業育成・起業支援	32.8%	企業誘致	25.7%
公務員	観光振興	32.2%	農業の活性化	30.0%	産業育成・起業支援	28.9%
パート・アルバイト	産業育成・起業支援	33.0%	観光振興	28.3%	地場産業 企業誘致	26.2%
家事専業	観光振興	35.4%	産業育成・起業支援	26.8%	地場産業	23.2%
無職	観光振興	33.0%	地場産業	30.5%	農業の活性化	26.1%
その他	観光振興	39.4%	産業育成・起業支援	33.8%	地場産業	26.8%

6) 学校教育について

●小中学校教育に対して心配なこと

◆設問 15「現在の小中学校教育に対してどのようなことが心配ですか？」

現在の小中学校教育に対してどのようなことが心配か尋ねたところ、全体では「子どもの道徳心やしつけの低下」が57.9%で突出して多くなっています。

年齢別にみても、いずれの年代も「子どもの道徳心やしつけの低下」が最も多くあげられており、特に年代が高くなるにつれ、道徳心等の低下を心配する人が多くなっています。

図 小中学校教育に対して心配なこと

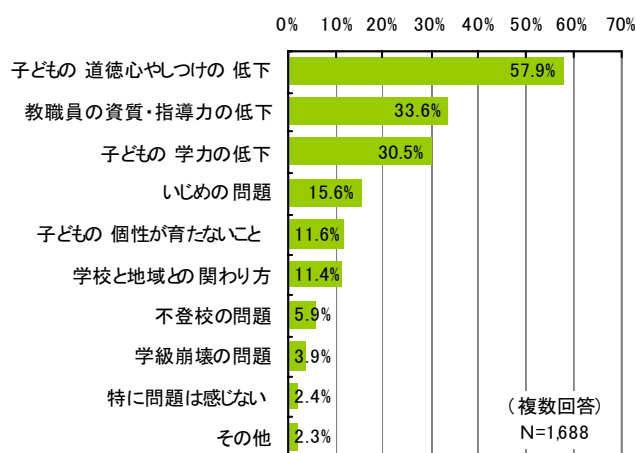


表 年齢別 小中学校教育に対して心配なこと（上位3つ）

	1位		2位		3位	
20代	道徳心等の低下	49.7%	学力の低下	31.7%	教職員の資質の低下	31.2%
30代	道徳心等の低下	48.4%	学力の低下	39.0%	教職員の資質の低下	33.6%
40代	道徳心等の低下	53.4%	学力の低下 教職員の資質の低下	35.9%		
50代	道徳心等の低下	61.3%	教職員の資質の低下	41.4%	学力の低下	21.8%
60代	道徳心等の低下	63.4%	教職員の資質の低下	32.3%	学力の低下	30.8%
70歳以上	道徳心等の低下	63.6%	学力の低下	29.2%	教職員の資質の低下	25.2%

表 居住地別 小中学校教育に対して心配なこと（上位3つ）

	1位		2位		3位	
大井町	道徳心等の低下	58.6%	教職員の資質の低下	37.1%	学力の低下	32.2%
長島町	道徳心等の低下	58.2%	教職員の資質の低下	38.4%	学力の低下	31.9%
東野	道徳心等の低下	58.2%	教職員の資質の低下	31.3%	学力の低下	26.9%
三郷町	道徳心等の低下	50.6%	教職員の資質の低下	30.4%	学力の低下	24.1%
武並町	道徳心等の低下	64.6%	教職員の資質の低下	35.4%	学力の低下	28.1%
笠置町	道徳心等の低下	65.2%	教職員の資質の低下	34.8%	学力の低下	30.4%
中野方町	道徳心等の低下	73.9%	学力の低下	27.5%	教職員の資質の低下	21.7%
飯地町	道徳心等の低下	50.0%	教職員の資質の低下	43.3%	学力の低下	30.0%
岩村町	道徳心等の低下	56.0%	学力の低下	29.6%	教職員の資質の低下	27.0%
山岡町	道徳心等の低下	56.2%	教職員の資質の低下	34.6%	学力の低下	32.7%
明智町	道徳心等の低下	57.0%	学力の低下	32.6%	教職員の資質の低下	30.6%
串原	道徳心等の低下	53.5%	学力の低下	25.4%	教職員の資質の低下	22.5%
上矢作町	道徳心等の低下	54.1%	教職員の資質の低下	40.0%	学力の低下	30.6%

●子どもに小中学校教育で身につけてもらいたいこと

◆設問 16「子どもが小中学校教育でどのようなことを身につけることを期待しますか？」

子どもが小中学校教育でどのようなことを身につけることを期待するか尋ねたところ、「良好な人間関係をつくる力など、社会生活に適応できる力」が62.1%で最も多く、次いで「他人への思いやりや感動する心」が57.6%となっており、これらは半数を超えています。

年齢別、居住地別にみても、上位2つは同様の結果となっています。

図 子どもに小中学校教育で身につけてもらいたいこと

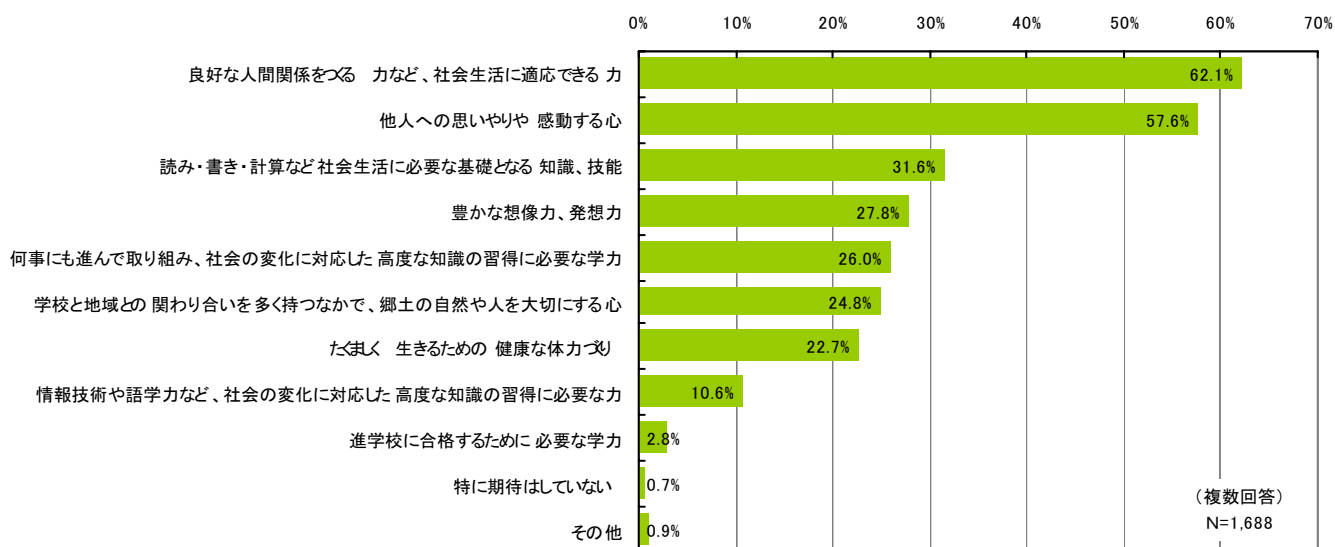


表 年齢別 子どもに小中学校教育で身につけてもらいたいこと（上位3つ）

	1位		2位		3位	
20代	人間関係をつくる力	67.2%	思いやり	65.1%	想像力、発想力	38.6%
30代	人間関係をつくる力	66.4%	思いやり	61.9%	読み・書き・計算	39.0%
40代	人間関係をつくる力	69.5%	思いやり	59.5%	読み・書き・計算	34.0%
50代	人間関係をつくる力	63.7%	思いやり	61.3%	郷土を大切にすること	30.5%
60代	思いやり	57.2%	人間関係をつくる力	53.8%	読み・書き・計算 何事にも進んで取組	29.5%
70歳以上	人間関係をつくる力	56.7%	思いやり	44.6%	読み・書き・計算	32.1%

表 居住地別 子どもに小中学校教育で身につけてもらいたいこと（上位3つ）

	1位		2位		3位	
大井町	人間関係をつくる力	65.5%	思いやり	60.6%	読み・書き・計算	34.9%
長島町	思いやり	63.5%	人間関係をつくる力	61.2%	何事にも進んで取組	31.6%
東野	人間関係をつくる力	64.2%	思いやり	49.3%	読み・書き・計算	34.3%
三郷町	人間関係をつくる力	67.1%	思いやり	58.2%	読み・書き・計算	34.2%
武並町	人間関係をつくる力	64.6%	思いやり	53.1%	想像力、発想力	30.2%
笠置町	人間関係をつくる力	69.6%	思いやり	50.7%	読み・書き・計算	34.8%
中野方町	人間関係をつくる力	69.6%	思いやり	65.2%	読み・書き・計算	33.3%
飯地町	思いやり	55.0%	人間関係をつくる力	53.3%	読み・書き・計算	41.7%
岩村町	思いやり	59.7%	人間関係をつくる力	56.0%	読み・書き・計算	31.4%
山岡町	人間関係をつくる力	56.2%	思いやり	53.1%	読み・書き・計算	29.6%
明智町	人間関係をつくる力	65.8%	思いやり	61.1%	読み・書き・計算	29.5%
串原	人間関係をつくる力	57.7%	思いやり	52.1%	郷土を大切にすること	36.6%
上矢作町	人間関係をつくる力	56.5%	思いやり	43.5%	想像力、発想力	34.1%

④ 市民参加や市民協働について

1) 協働のまちづくりについての住民の意識改革の必要性

◆設問 17「昨年10月市町村合併により、新恵那市が誕生しましたが、これからの新しいまちづくりについておたずねします。新市全体または、旧市町村単位での住民の行政参画や協働のまちづくりのあり方、住民と行政の新しい関係づくりといった住民意識の改革が必要だと思いますか？」

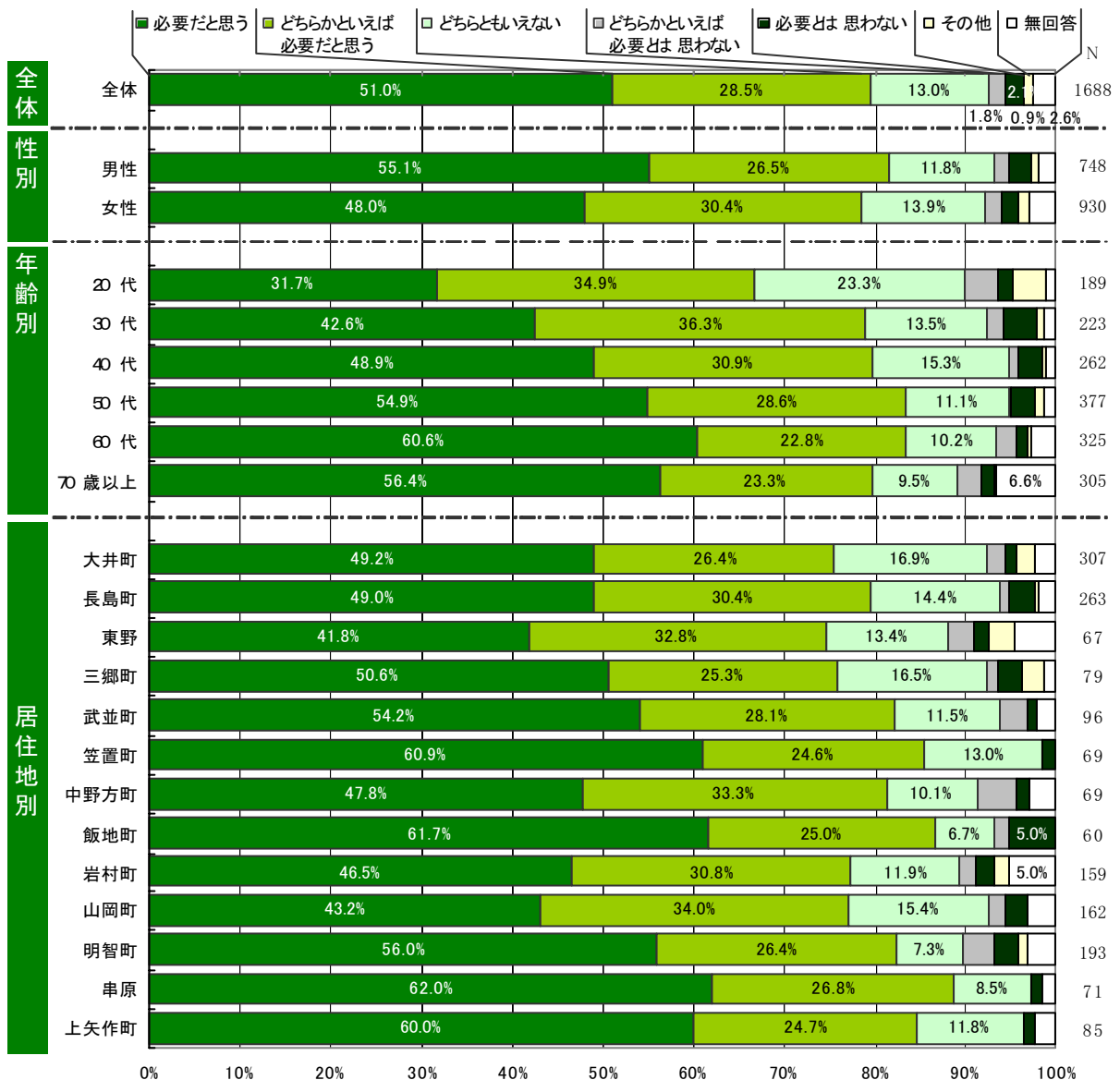
これからの新しいまちづくりについて、住民意識の改革が必要かどうかを尋ねたところ、「必要だと思う」51.0%、「どちらかといえば必要だと思う」28.5%を合わせ約80%が住民意識の改革を必要としています。

性別にみると、男性の方が住民の意識改革の必要性を感じている割合が高くなっています。

年齢別にみると、50代、60代を中心に住民の意識改革の必要性を感じている割合が高く、年齢が若いほどその割合は低くなっています。

居住地別にみると、串原、飯地町、笠置町などで住民の意識改革の必要性を感じている割合が高くなっています。

図 協働のまちづくりについての住民の意識改革の必要性



2) 市民の意見を市政に反映するために必要なこと

◆設問 18「市民の意見を市政に反映するために、何が必要だと思いますか？」

市民の意見を市政に反映するために何が必要かを尋ねたところ、全体では「会議の内容を市民が知ることができる機会を充実する」が最も多く 36.2%、次いで「市長や議員が多くの市民と対話集会する機会を充実する」が 33.8%となっています。

年齢別にみると、20代、30代では「アンケート調査、意見箱の設置など多数の意見を聞く機会を増やす」が最も多くあげられています。また、30代から60代では「市民参加で計画づくりや設計を行える機会を充実する」も 30%前後と多くなっています。

図 市民の意見を市政に反映するために必要なこと

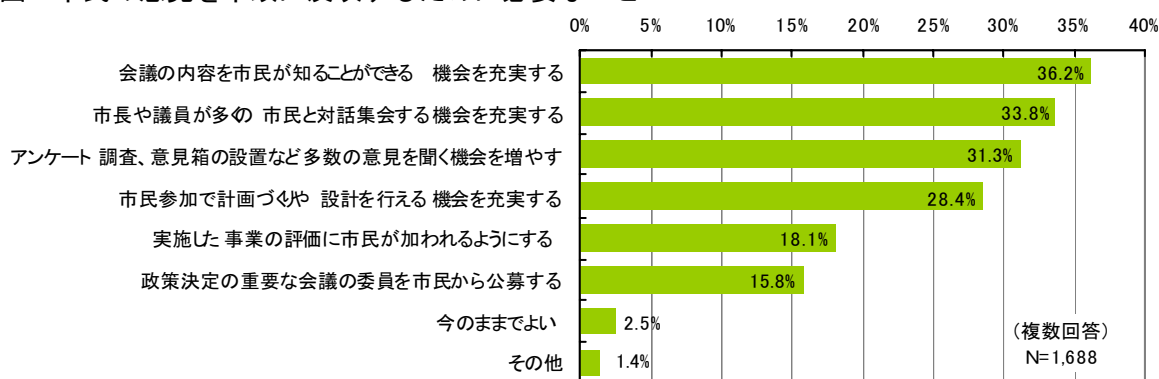


表 年齢別 市民の意見を市政に反映するために必要なこと（上位3つ）

	1位		2位		3位	
20代	アンケート調査など	41.3%	会議の内容を知る	29.1%	対話集会の充実	25.4%
30代	アンケート調査など	39.0%	市民参加で計画事業の評価	26.9%		
40代	会議の内容を知る	34.7%	市民参加で計画	34.4%	アンケート調査など	30.2%
50代	会議の内容を知る	41.4%	対話集会の充実	34.5%	市民参加で計画	31.6%
60代	対話集会の充実	43.7%	会議の内容を知る	39.7%	市民参加で計画	28.0%
70歳以上	会議の内容を知る	40.0%	対話集会の充実	39.3%	アンケート調査など	26.9%

表 居住地別 市民の意見を市政に反映するために必要なこと（上位3つ）

	1位		2位		3位	
大井町	市民参加で計画	31.6%	会議の内容を知る	30.9%	対話集会の充実	28.7%
長島町	会議の内容を知る	35.0%	アンケート調査など	31.9%	市民参加で計画	30.8%
東野	対話集会の充実	38.8%	会議の内容を知る	37.3%	アンケート調査など	26.9%
三郷町	アンケート調査など	36.7%	会議の内容を知る	31.6%	市民参加で計画	30.4%
武並町	対話集会の充実	34.4%	会議の内容を知る アンケート調査など	32.3%		
笠置町	アンケート調査など	42.0%	市民参加で計画	40.6%	対話集会の充実	36.2%
中野方町	アンケート調査など	37.7%	市民参加で計画 会議の内容を知る	33.3%		
飯地町	対話集会の充実	43.3%	市民参加で計画	40.0%	アンケート調査など	36.7%
岩村町	会議の内容を知る	42.8%	対話集会の充実	32.1%	アンケート調査など	30.2%
山岡町	会議の内容を知る	44.4%	対話集会の充実	39.5%	アンケート調査など	34.6%
明智町	会議の内容を知る	44.0%	対話集会の充実	39.4%	市民参加で計画	28.5%
串原	会議の内容を知る	38.0%	対話集会の充実	36.6%	アンケート調査など	32.4%
上矢作町	対話集会の充実	45.9%	会議の内容を知る アンケート調査など	34.1%		

3) 地域コミュニティ活動や市民協働を推進するために必要なこと

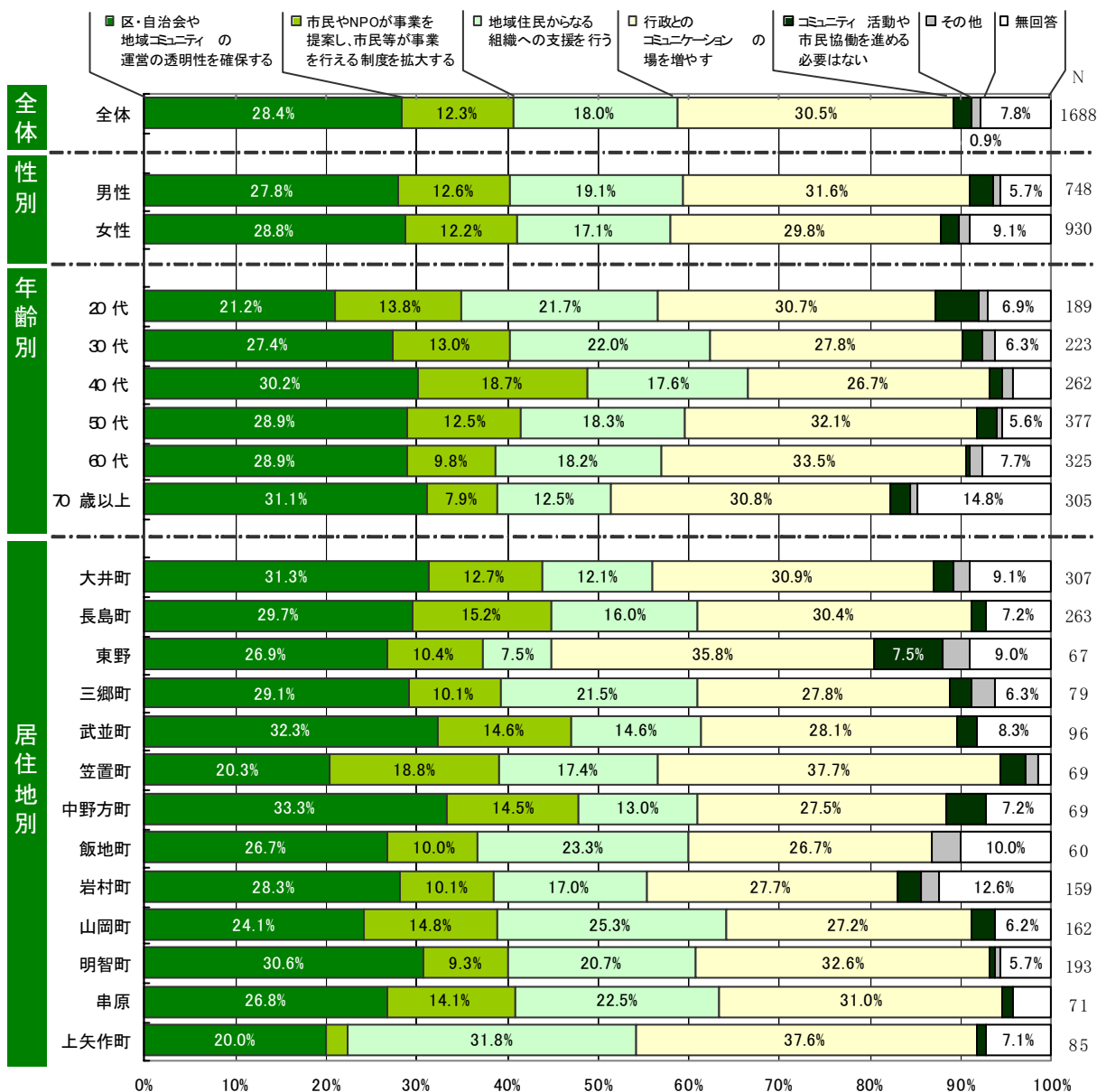
◆設問 19「地域コミュニティ活動や市民協働を推進するためには、何が必要だと思いますか？」

地域コミュニティ活動や市民協働を推進するために何が必要かを尋ねたところ、全体では「行政とのコミュニケーションの場を増やす」が30.5%で最も高い割合を占め、次いで「区・自治会や地域コミュニティの運営の透明性を確保する」が28.4%、「地域住民からなる組織への支援を行う」が18.0%となっています。

年齢別にみると、40代では「市民やNPOが事業を提案し、市民等が事業を行える制度を拡大する」の割合が18.7%と他の年代に比べて高くなっています。

居住地別にみると、上矢作町では「地域住民からなる組織への支援を行う」の割合が31.8%と他の地域に比べて高くなっています。

図 地域コミュニティ活動や市民協働を推進するために必要なこと



⑤ 行財政運営について

1) 効率的な行財政運営を行うために重点的に取り組むべきこと

◆設問 20「効率的な行財政運営を行うために、何を重点的に取り組むべきだと思いますか？」

効率的な行財政運営を行うために何を重点的に取り組むべきかを尋ねたところ、全体では「行政内部の経費の適正化・削減を徹底する」が最も多く 49.8%、次いで「行政組織を簡素・合理化する」が 40.3%となっており、年齢別、居住地別にみても、主にこの2つが上位に上げられています。

図 効率的な行財政運営を行うために重点的に取り組むべきこと

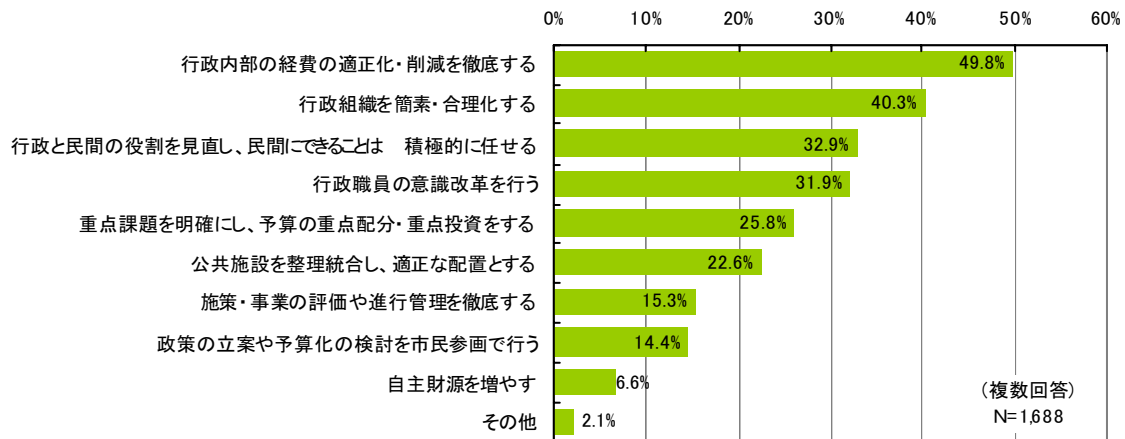


表 年齢別 効率的な行財政運営を行うために重点的に取り組むべきこと（上位3つ）

	1位		2位		3位	
20代	行政内部経費の適正化	49.7%	行政組織の簡素・合理化	29.6%	行政職員の意識改革	29.1%
30代	行政内部経費の適正化	54.3%	行政組織の簡素・合理化 行政職員の意識改革	32.7%		
40代	行政内部経費の適正化	50.0%	行政組織の簡素・合理化	40.8%	行政職員の意識改革	37.8%
50代	行政内部経費の適正化	54.6%	行政組織の簡素・合理化	45.4%	行政職員の意識改革	36.6%
60代	行政内部経費の適正化	51.1%	行政組織の簡素・合理化	40.0%	民間に任せる	38.8%
70歳以上	行政組織の簡素・合理化	46.2%	行政内部経費の適正化	39.7%	民間に任せる	29.5%

表 居住地別 効率的な行財政運営を行うために重点的に取り組むべきこと（上位3つ）

	1位		2位		3位	
大井町	行政内部経費の適正化	49.5%	行政組織の簡素・合理化	38.1%	民間に任せる	33.6%
長島町	行政内部経費の適正化	51.7%	行政組織の簡素・合理化	43.0%	民間に任せる	33.1%
東野	行政組織の簡素・合理化	55.2%	行政内部経費の適正化	47.8%	民間に任せる	40.3%
三郷町	行政内部経費の適正化	43.0%	民間に任せる	40.5%	行政組織の簡素・合理化	35.4%
武並町	行政内部経費の適正化	55.2%	行政組織の簡素・合理化	42.7%	行政職員の意識改革	37.5%
笠置町	行政組織の簡素・合理化 行政内部経費の適正化	49.3%			民間に任せる	36.2%
中野方町	行政内部経費の適正化	46.4%	民間に任せる	37.7%	行政組織の簡素・合理化 行政職員の意識改革	33.3%
飯地町	行政内部経費の適正化	50.0%	行政組織の簡素・合理化	40.0%	民間に任せる 行政職員の意識改革	38.3%
岩村町	行政内部経費の適正化	43.4%	行政組織の簡素・合理化	35.2%	民間に任せる	32.1%
山岡町	行政内部経費の適正化	55.6%	行政組織の簡素・合理化	40.7%	重点課題を明確	30.2%
明智町	行政内部経費の適正化	55.4%	行政組織の簡素・合理化	37.3%	行政職員の意識改革	33.2%
串原	行政組織の簡素・合理化	46.5%	行政内部経費の適正化	38.0%	行政職員の意識改革	33.8%
上矢作町	行政内部経費の適正化	50.6%	行政組織の簡素・合理化	40.0%	重点課題を明確	35.3%